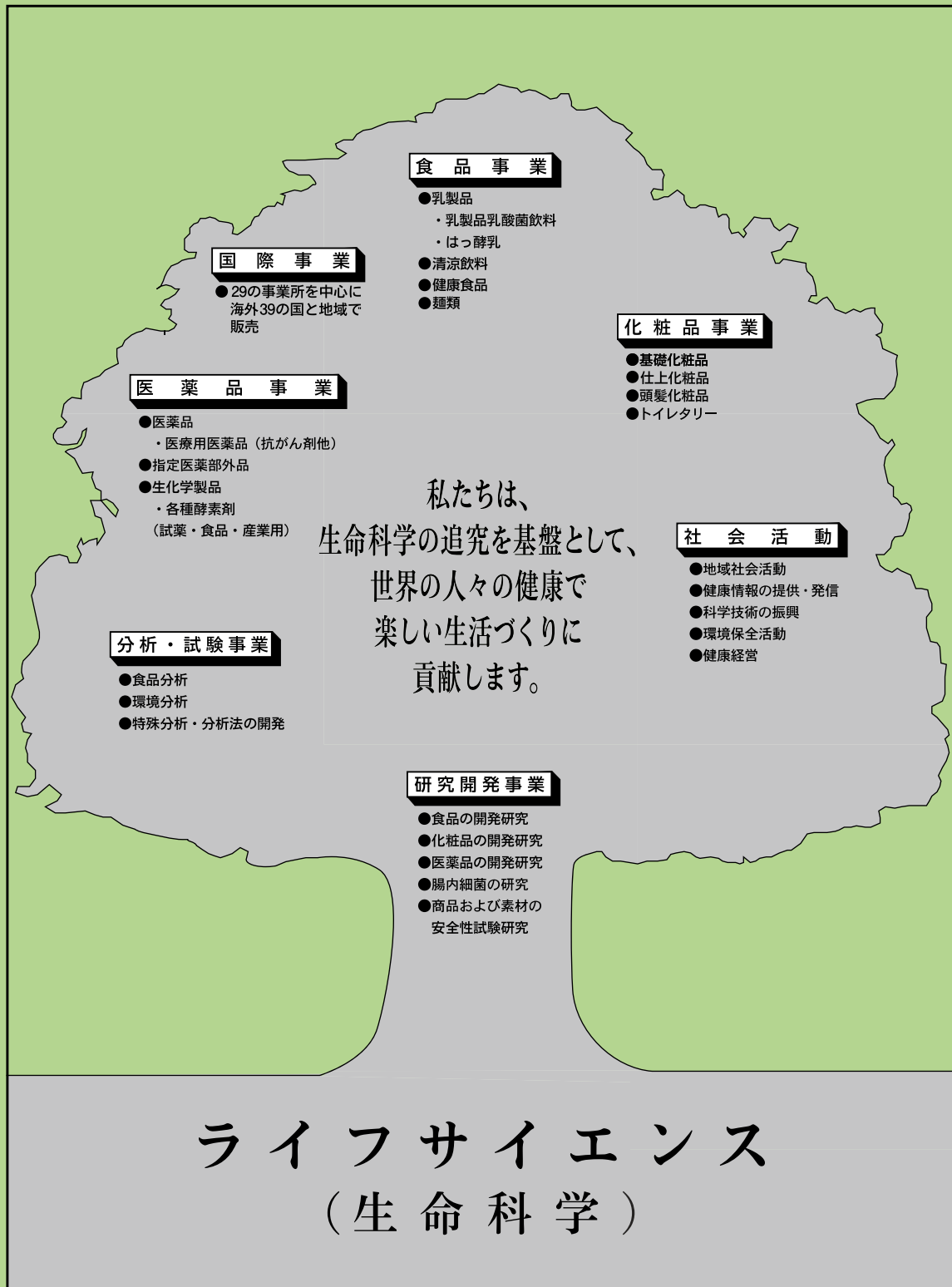


ヤクルトの概況

2023年8月

株式会社ヤクルト本社
広報室

当社の企業理念と事業展開



人も地球も健康に
Yakult

コーポレートスローガンである『人も地球も健康に』は、これからも地球環境全体の健康を視野に入れ、全ての事業活動を通じて、「世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献する」という想いが込められています。

目 次

1. ヤクルトの歴史	1
2. ヤクルト本社の概要	4
3. ヤクルトグループの概要	13
4. 国際事業の概要	16
5. 食品事業の概要	20
6. プロバイオティクスと保健機能食品	26
7. 化粧品事業の概要	31
8. 医薬品事業の概要	33
9. 研究活動の概要	37
10. ヤクルトのサステナビリティの取り組み	41
11. 学術支援・広報活動	45
12. お客さま相談センター	45

◎この資料で特にことわりのないものは
2023年6月末日現在のものです。

ヤクルトの語源

ヤクルトは、エスペラント語でヨーグルトを意味するヤフルト (Jahurto) をもとにした造語です。乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」は当社の登録商標で乳酸菌飲料の一般名称ではありません。

エスペラント語は19世紀の末に、ザメンホフというポーランド人が世界共通語として作った言語です。

1. ヤクルトの歴史

(1) ヤクルトのおいたち

ヤクルトの歴史は、創始者である医学博士・代田 稔（1899～1982）が、京都帝国大学医学部で微生物の研究中に強化培養することに成功した「乳酸菌 シロタ株」(L. カゼイ・シロタ株*) を含んだ飲料を、1935（昭和10）年に「ヤクルト」の名称で福岡県福岡市で発売したことに始まります。「ヤクルト」は、腸内で有用なはたらきをする「乳酸菌 シロタ株」を毎日飲むことにより、人々の健康づくりに役立ててもらおうことを願って世に出されました。

戦後、「ヤクルト」を販売する販売会社組織は全国に拡大し、1955（昭和30）年にこれらの組織を統括する機関として、ヤクルト本社が設立されました。

1967（昭和42）年、京都府京都市から東京都国立市に研究拠点を移転し、研究開発体制の強化を図るとともに、はっ酵乳「ジョア」、清涼飲料といった商品の多様化と併せて、化粧品、医薬品事業へと経営の多角化を図ってきました。

海外への展開も積極的に行われ、現在29の事業所を中心に39の国と地域で販売されています。

*2020年4月以降は、L. パラカゼイ・シロタ株と分類されています。

(2) 会社の動き

年	会 社 の 動 き
1930（昭和 5）年	○創始者・代田 稔が、京都帝国大学医学部微生物学教室において、乳酸菌の強化培養に成功（乳酸菌 シロタ株）
1935（昭和10）年	○福岡市において、「代田保護菌研究所」のもとに「ヤクルト」の製造・販売を開始
1940（昭和15）年	○販売専門の「代田保護菌普及会」が各地に誕生
1955（昭和30）年	○株式会社ヤクルト本社設立、東京で業務を開始 ○京都市に代田研究所設立
1961（昭和36）年	○全国を11地区に分け、それぞれの販売会社、瓶詰会社を組合員として、協同組合を設立
1963（昭和38）年	○婦人販売店システムの導入を開始（ヤクルトレディによるお届け）
1964（昭和39）年	○台湾ヤクルト株式会社が営業開始（初の海外進出）
1967（昭和42）年	○研究拠点を国立市に移転（現 中央研究所）
1968（昭和43）年	○プラスチック容器を導入 ○「サンケイアトムズ」（現 株式会社ヤクルト球団）の経営承継
1970（昭和45）年	○「ジョア」を発売
1971（昭和46）年	○化粧品分野に本格参入
1972（昭和47）年	○東京都港区東新橋に本社社屋完成（ヤクルトホール併設） ○ヤクルトレディによる「愛の訪問活動」を開始
1975（昭和50）年	○医薬品分野に本格参入 ○「ソフール」を発売
1978（昭和53）年	○「ミルミル」を発売 ○ヤクルトスワローズ（現 東京ヤクルトスワローズ）が初のリーグ制覇・初の日本一
1979（昭和54）年	○一般用医薬品「ヤクルト整腸薬」を発売
1980（昭和55）年	○東京証券取引所市場第二部へ株式上場 ○「タフマン」を発売
1981（昭和56）年	○東京証券取引所市場第一部へ株式上場

年	会 社 の 動 き
1989 (平成元) 年	○基礎化粧品「リベシィS. E.」シリーズ (現「リベシィ」シリーズ) を発売
1990 (平成2) 年	○各支店に「お客さま相談センター」を開設 (フリーダイヤル導入)
1992 (平成4) 年	○財団法人ヤクルト・バイオサイエンス研究財団 (現 公益財団法人) を設立
1994 (平成6) 年	○化学療法抗がん剤「カンプト注」を発売 (2008 (平成20) 年7月に「カンプト点滴静注」に名称変更) ○「愛の訪問活動」に対し、ボランティア功労者として「厚生大臣表彰」を受賞
1995 (平成7) 年	○高級基礎化粧品「パラビオ」シリーズ (医薬部外品) を発売 ○「ヤクルトBL整腸薬」を発売
1998 (平成10) 年	○「ヤクルト」に特定保健用食品の表示 (許可を取得) ○「ヤクルト蓄爽麗茶」を発売 (2000 (平成12) 年に特定保健用食品の表示)
1999 (平成11) 年	○「ヤクルト400」を発売 (2001 (平成13) 年に特定保健用食品の表示)
2003 (平成15) 年	○「カンプト点滴静注」が「発明協会会長賞」を受賞 ○キリンビバレッジ株式会社と自動販売機業務で提携
2004 (平成16) 年	○グループダノンと戦略提携契約を締結 ○「プレティオ」を発売
2005 (平成17) 年	○抗悪性腫瘍剤「エルプラット注射用100mg」を発売 ○1単元の株式数を1,000株から100株に変更 ○キリングroupと事業提携について合意 ○国際水泳連盟 (FINA (現 WA)) オフィシャルパートナーとして世界水泳選手権大会に協賛
2006 (平成18) 年	○化粧品事業のブランド名称を「Yakult Cosmetics」から「Yakult Beautiens」に変更
2007 (平成19) 年	○腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN®」を開発
2008 (平成20) 年	○「BF-1 (ビーエフワン)」を発売 (2019 (令和元) 年から機能性表示食品) ○「ヤクルト400LT」を発売 ○「ヤクルト」が「2008年グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」(Gマーク) を受賞
2009 (平成21) 年	○「ヤクルトカロリーハーフ」を発売 ○美白基礎化粧品「リベシィホワイト」シリーズ (医薬部外品) を発売 ○抗悪性腫瘍剤「エルプラット」が結腸がんにおける術後補助化学療法に関する効能・効果、剤形 (水溶性製剤) 追加、用量・用法 (CAPOX療法) に関する承認を取得
2010 (平成22) 年	○「ミルミルS」を発売
2011 (平成23) 年	○ヤクルト容器の形状を立体商標登録 ○基礎化粧品「ラクトデュウ」シリーズを発売 ○執行役員制度を導入
2012 (平成24) 年	○「三つ星Factory」ブランドが誕生 ○宇宙を舞台にした活動 (YAKULT SPACE DISCOVERY) に着手 ○「パラビオ ACクリーム サイ」を発売 ○「乳酸菌 シロタ株」が米国・食品医薬品局 (FDA) よりGRAS認証を取得
2013 (平成25) 年	○ダノンとの戦略提携契約を終了 ○「Newヤクルト」「Newヤクルトカロリーハーフ」を発売
2014 (平成26) 年	○国際宇宙ステーション (ISS) を利用した共同研究を開始
2016 (平成28) 年	○新たな中央研究所が完成
2017 (平成29) 年	○初の公式キャラクター「ヤクルトマン」誕生

ヤクルトの歴史

ヤクルト本社の概要

ヤクルトグループの概要

国際事業の概要

食品事業の概要

プロバイオティクスと
保健機能食品

化粧品事業の概要

医薬品事業の概要

研究活動の概要

ヤクルトの
サステナビリティの取り組み

学術支援・広報活動、
お客さま相談センター

年	会 社 の 動 き
2018 (平成30) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○「第2回日本サービス大賞」において「ヤクルトレディによる宅配サービス」が「経済産業大臣賞」を受賞 ○ネイチャー・リサーチとパートナーシップ契約を締結 ○ヤクルトレディによるお届けのインターネットサービス「ヤクルト届けてネット」の全国展開開始 ○第2回「ジャパンSDGsアワード」にて特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞
2019 (令和元) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○「ヤクルトファイブ」を発売 ○「Yakult (ヤクルト) 1000」を地域限定で発売 (当社初の機能性表示食品)
2020 (令和2) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○東京都港区海岸に本社社屋を移転 ○「ヤクルト400W」を地域限定で発売
2021 (令和3) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○「Yakult (ヤクルト) 1000」を全国発売 ○「ヤクルトグループ環境ビジョン」を策定 ○長期ビジョン「Yakult Group Global Vision 2030」を策定 ○「ヤクルト400W」を全国発売 ○「Y1000」を発売 ○ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社との国内事業に関する業務提携契約を締結
2022 (令和4) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○「パラビオ ACセラム サイ」を発売 ○東京証券取引所の市場区分再編に伴い「プライム市場」へ移行 ○「Yakult (ヤクルト) 1000」が「2022ユーキャン新語・流行語大賞」トップテンに選出
2023 (令和5) 年	<ul style="list-style-type: none"> ○「ワールド・ブランディング・アワーズ」において「Yakult」が「ブランド・オブ・ザ・イヤー」を6年連続で受賞 ○「健康経営優良法人～ホワイト500～」に6年連続で認定

※各海外事業所の営業開始年月は16、17ページ参照

2. ヤクルト本社の概要

- (1) 設 立 1955 (昭和30) 年 4 月 9 日
- (2) 名 称 株式会社ヤクルト本社
- (3) 本店所在地 〒105-8660 東京都港区海岸1丁目10番30号
☎ 03(6625)8960 ^{ヤクルト}〈大代表〉
- (4) 資 本 金 31,117,654,815円
- (5) 代表取締役社長 成田 裕
- (6) 事業内容 食品、化粧品、医薬品などの製造・販売、その他
- (7) 事業所 研究所(1)、支店(5)、工場(7)、医薬支店(6)、
物流センター(12)、医薬品配送センター(2)

研究所名	所 長	所 在 地	電 話 番 号
中央研究所	南 野 昌 信	〒186-8650 東京都国立市泉5-11	042 (577) 8960

支 店 名	支 店 長	所 在 地	電 話 番 号
北海道支店	松 園 直 史	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西6-10-10 大通公園ビル6階	011 (231) 8960
東日本支店	相 馬 武 彦	〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30	03 (5962) 8960
仙台営業所		〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-6-35 東京建物仙台ビル6階	022 (713) 8960
首都圏支店	前 田 典 人	〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30	03 (6632) 8960
中日本支店	阿 部 泰 久	〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-25 ハービスOSAKA16階	06 (6341) 8960
西日本支店	朝 倉 義 信	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル北館4階	092 (711) 8960

◎本社工場

工場名	工場長	所在地・電話番号	生産品目	取得時期	
				ISO 22000	ISO 14001
福島工場	関口 理	〒960-8520 福島県福島市黒岩字遠沖10-1 024 (546) 8960	Yakult (ヤクルト) 1000原料液 Newヤクルト原料液 Newヤクルトカロリーーフ原料液 ソフール ミルミル ミルミルS カップ de ヤクルト	○ 2021.10	○ 2002.5
茨城工場	原 政道	〒306-0314 茨城県猿島郡五霞町大字川妻1232-2 0280 (84) 2121	Newヤクルトカロリーーフ原料液 ヤクルト400LT原料液 ヤクルトファイブ原料液 Yakult (ヤクルト) 1000原料液 Y1000	○ 2021.10	○ 2002.8
湘南化粧品工場	横井 克士	〒251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明2-5-10 0466 (25) 8960	化粧品		○ 2002.7
富士裾野工場	木内 英利	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1 055 (997) 3311	ヤクルト400原料液 ヤクルト400LT原料液 Yakult (ヤクルト) 1000 ジョア	○ 2021.10	○ 2000.10
富士裾野医薬品工場	大桃 英志	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1 055 (997) 4417	医薬部外品 医療用医薬品・原薬		○ 2003.1
兵庫三木工場	齊藤 彰則	〒673-0514 兵庫県三木市志染戸田字中尾1838-266 0794 (89) 8960	Newヤクルト原料液 ヤクルト400W原料液 Yakult (ヤクルト) 1000原料液 ソフール ミルミル BF-1 プレティオ	○ 2021.10	○ 2014.12
佐賀工場	上田 貴夫	〒842-0002 佐賀県神埼市神埼町田道ケ里2300 0952 (52) 8960	Newヤクルトカロリーーフ原料液 ヤクルト400LT原料液 ミルミルS Yakult (ヤクルト) 1000原料液 Y1000	○ 2021.10	○ 2001.12

◎ ボトリング会社

社名	代表取締役社長	所在地・電話番号	生産品目	取得時期	
				ISO 22000	ISO 14001
(株)岩手ヤクルト工場	大石 敏吉	〒024-0051 岩手県北上市相去町大松沢1-45 0197 (71) 2828	Newヤクルト Newヤクルトカロリー-half ヤクルト400LT ヤクルトファイブ Yakult (ヤクルト) 1000	○ 2021.10	○ 2004.9
(株)千葉ヤクルト工場	清野 博	〒284-0035 千葉県四街道市和田166 043 (432) 8960	Newヤクルトカロリー-half Yakult (ヤクルト) 1000	○ 2021.10	○ 2003.7
(株)愛知ヤクルト工場	中村 昭一	〒470-0112 愛知県日進市藤枝町前田5 0561 (73) 8960	Newヤクルト ヤクルト400 ヤクルト400LT	○ 2021.10	○ 2004.3
(株)岡山和気ヤクルト工場	増井 数馬	〒709-0464 岡山県和気郡和気町田原下字高柳269 0869 (92) 5400	Newヤクルト ヤクルト400W Yakult (ヤクルト) 1000 Y1000	○ 2021.10	○ 2016.12
(株)福岡ヤクルト工場	太江田 和年	〒818-0067 福岡県筑紫野市大字俗明院1-1 092 (925) 8960	Newヤクルトカロリー-half ヤクルト400LT Yakult (ヤクルト) 1000	○ 2021.10	○ 2004.3

※その他の関連会社は13、14ページを参照

[国内・海外の取得認証] (2023年3月末現在)

HACCP: Hazard Analysis Critical Control Point (危害分析・重要管理点)

- ・生産工程ごとに有害微生物や異物混入等の危害を特定・分析し、その防止に必要な管理項目を設定し、監視・記録する。
- ・従来の最終製品の検査に重点をおいた衛生管理と異なり、製造工程全体の衛生管理を徹底することで品質を保証することが特徴。
- ・14海外事業所(香港、タイ、韓国、フィリピン、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インド、広州、佛山、上海、無錫、ブラジル、メキシコ、アメリカ)で取得。

ISO: International Organization for Standardization (国際標準化機構)

- ・1947年に設立された世界共通の規格・基準などを制定する国際機関。

ISO 9001 (品質マネジメントシステムの国際規格)

- ・全業務の仕組み・手順を品質規格に適合するよう文書化し、それに基づいた結果を確実に記録していくシステム。
- ・日本国内2関連会社、9販売会社および9海外事業所(香港、シンガポール、オーストラリア、インド、広州、佛山、上海、無錫、ヨーロッパ、イギリス)で取得。

ISO 14001 (環境マネジメントシステムの国際規格)

- ・企業等が自主的に“環境にやさしい行動”を進めるための方針や目標を設定して、その達成と継続的改善に向けて取り組んでいくシステム。
- ・日本国内7本社工場、5ボトリング会社、中央研究所分析試験研究所(分析第三研究室)、4関連会社、8販売会社および5海外事業所(ベトナム、インド、広州、佛山、ヨーロッパ、イギリス)で取得。

ISO 22000 (食品安全マネジメントシステムの国際規格)

- ・HACCPの衛生管理手法をもとに、食品の製造・加工・調理などの過程における食品の安全性を確実なものにし、その保証を可能にするシステム。
- ・日本国内5本社工場、5ボトリング会社、1販売会社および7海外事業所(台湾、香港、シンガポール、インドネシア、ベトナム、天津、ブラジル)で取得。

ISO45001 (労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格)

- ・組織のために働くすべての人々に安全で健康的な職場環境を提供することを目的としたシステム。
- ・1海外事業所(インド)で取得。

FSSC 22000: Food Safety System Certification (食品安全性システム認証)

- ・ISO 22000と食品製造に関する一般的衛生管理の基準である「食品製造における食品安全のための前提条件プログラム」を組み合わせたシステム。
- ・日本国内2関連会社および2海外事業所(メキシコ、ヨーロッパ)で取得。

GMP: Good Manufacturing Practice (適正製造規範)

- ・医薬品、食品等の製造管理、品質管理の国際規範。
- ・6海外事業所(台湾、タイ、韓国、フィリピン、ブラジル、メキシコ)で取得。
- ※台湾では、GMPに準ずるものとして台湾国内の認証制度TQFを取得。

SQF : Safe Quality Food (安全で高品質な食品)

- ・食品の安全と品質を確保するための国際的なマネジメントシステム。
- ・2海外事業所(台湾、アメリカ)で取得。

HALAL

- ・ハラール認証:ハラールであると認められた製品等にマークを付与する制度。
- ・日本国内1関連会社、6海外事業所(台湾、タイ、フィリピン、シンガポール、インドネシア、マレーシア)で取得。

※海外工場の概要は19ページを参照

◎医薬支店

支店名	所在地	電話番号
医薬札幌支店	〒062-0020 北海道札幌市豊平区月寒中央通7-6-20 (JA月寒中央ビル6階)	011 (856) 8815
医薬東京第一支店	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-18-12 (日土地人形町ビル2階)	03 (3664) 8960
医薬東京第二支店	〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-2 (GINZA YAMATO3 5階)	048 (650) 2181
医薬名古屋支店	〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-17-6 (ナカトウ丸の内ビル5階)	052 (950) 3801
医薬大阪支店	〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場1-16-10 (大阪岡本ビル7階)	06 (6264) 2100
医薬福岡支店	〒815-0033 福岡県福岡市南区大橋2-1-1 (大橋花村ビル2階)	092 (541) 4407

◎物流センター

センター名	所在地	電話番号
札幌物流センター	〒003-0030 北海道札幌市白石区流通センター7-5-1	011 (801) 8960
岩手物流センター	〒024-0051 岩手県北上市相去町大松沢1-45	0197 (81) 5333
福島物流センター	〒960-8520 福島県福島市黒岩字遠沖10-1	024 (546) 8907
館林物流センター	〒374-0071 群馬県館林市下早川田町110-8	0276 (60) 5621
千葉物流センター	〒275-0023 千葉県習志野市芝園2-6-6	047 (408) 2061
東京物流センター	〒192-0032 東京都八王子市石川町2969-3	042 (648) 8960
化粧品物流センター	〒257-0015 神奈川県秦野市平沢397-1	0463 (85) 0335
裾野物流センター	〒410-1105 静岡県裾野市下和田字十三郎653-1	055 (997) 1456
愛知物流センター	〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字高添99-1	0568 (39) 2278
大阪物流センター	〒567-0062 大阪府茨木市東福井4-23-1	072 (643) 6700
岡山物流センター	〒704-8126 岡山県岡山市東区西大寺浜460	086 (942) 8961
福岡物流センター	〒811-2104 福岡県糟屋郡宇美町大字井野433-1	092 (933) 8960

◎医薬品配送センター

センター名	所在地	電話番号
医薬品東日本配送センター	〒341-0009 埼玉県三郷市新三郷ららシティ3-3-1	048 (950) 3315
医薬品西日本配送センター	〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島8-3-6, 2-7	078 (304) 8771

(8) 主要取引銀行 みずほ銀行、りそな銀行、三菱UFJ銀行

(9) 従業員の状況

(2023年3月末日現在)

区分	従業員数	平均年齢	平均勤続年数
男性	2,017名	43歳5か月	19年9か月
女性	748名	40歳1か月	15年9か月
計	2,765名	42歳6か月	18年8か月

※上記従業員数には、出向者286名、嘱託160名を含みます。

(10) 経営体制

相談役名誉会長	堀 澄也	
---------	------	--

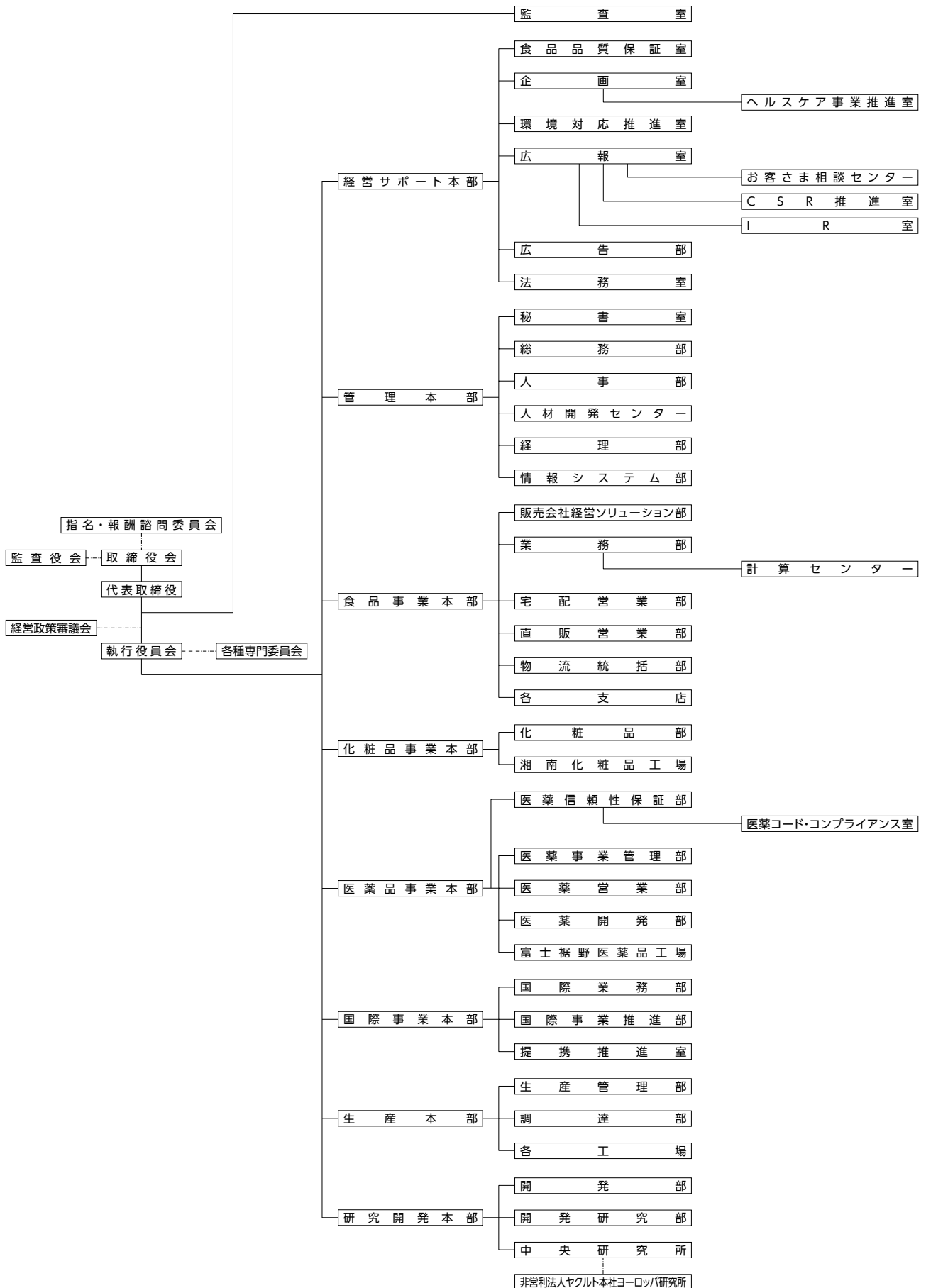
【取締役・監査役】

役職名	氏名	他の主な法人等の代表状況等
代表取締役社長	成田 裕	
取締役	若林 宏	
〃	土井 明文	
〃	今田 正男	
〃	平野 宏一	
〃	柳良 昌利	
〃	星子 秀章	
〃	島田 淳一	
取締役(非常勤)	安田 隆二	[社外取締役] (東京女子大学 理事長)
〃	戸部 直子	[社外取締役] (弁護士)
〃	新保 克芳	[社外取締役] (弁護士)
〃	永沢 裕美子	[社外取締役] (フォスター・フォーラム (良質な金融商品を育てる会) 世話人)
〃	阿久津 聡	[社外取締役] (一橋大学大学院経営管理研究科教授)
〃	マシュー・デイグレイバー	[社外取締役] (弁護士)
〃	内藤 学	(水戸ヤクルト販売(株)代表取締役社長)
常勤監査役	山上 博資	
〃	川名 秀幸	
監査役	谷川 清十郎	[社外監査役] (神戸ヤクルト販売(株)代表取締役社長)
〃	手塚 仙夫	[社外監査役] (公認会計士)
〃	町田 恵美	[社外監査役] (公認会計士)

【執行役員】

役職名	氏名	管 掌
社長執行役員	成田 裕	
副社長執行役員	若林 宏	
専務執行役員	土井 明文	生産本部長（生産管理部・調達部・各工場）
〃	今田 正男	経営サポート本部長（食品品質保証室・企画室・環境対応推進室・広報室・広告部・法務室）
〃	平野 宏一	研究開発本部長（開発部・開発研究部・中央研究所・ヨーロッパ研究所）
〃	南野 昌信	中央研究所長、ヨーロッパ研究所
常務執行役員	椰良 昌利	食品事業本部長（販売会社経営ソリューション部・業務部・宅配営業部・直販営業部・物流統括部・各支店） 化粧品事業本部長（化粧品部・湘南化粧品工場）
〃	星子 秀章	管理本部長（秘書室・総務部・人事部・人材開発センター・経理部・情報システム部）
〃	島田 淳一	国際事業本部長（国際業務部・国際事業推進部・提携推進室）
〃	鈴木 康之	生産副本部長、生産管理部・国際業務部（海外工場担当）
〃	渡辺 秀一	医薬品事業本部長（医薬信頼性保証部・医薬事業管理部・医薬営業部・医薬開発部・富士裾野医薬品工場）、経理部
〃	後藤 隆夫	秘書室
〃	川畑 裕之	経営サポート副本部長、企画室・広報室・広告部・法務室
〃	岸本 明	販売会社経営ソリューション部・業務部・直販営業部・物流統括部
執行役員	里見 昌彦	医薬営業部・医薬開発部
〃	長岡 正人	企画室・中央研究所
〃	永岡 裕明	人事部・人材開発センター・情報システム部
〃	夏目 裕	食品品質保証室・環境対応推進室・広報室
〃	清野 正和	生産管理部・調達部
〃	朝倉 義信	西日本支店長
〃	梅原 紀幸	広州ヤクルト株式会社・中国ヤクルト株式会社
〃	長南 治	中央研究所・広報室（学術担当）・国際業務部（学術担当）
〃	志田 寛	中央研究所・開発研究部
〃	植草 俊一	国際業務部・国際事業推進部・提携推進室
〃	改谷 正貴	総務部・情報システム部
〃	西川 賢	開発部・開発研究部・業務部
〃	山本 幹	企画室・直販営業部
〃	小町 直樹	業務部・宅配営業部・化粧品部・湘南化粧品工場

(11) 組織



ヤクルトの歴史

ヤクルト本社の概要

ヤクルトグループの概要

国際事業の概要

食品事業の概要

プロバイオティクスと
保健機能食品

化粧品事業の概要

医薬品事業の概要

研究活動の概要

ヤクルトの
サステナビリティの取り組み

学術支援・広報活動、
お客さま相談センター

(12) 業 績

①業績の推移

決算年月 (連結)	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	415,116	483,071
営業利益(百万円)	53,202	66,068
経常利益(百万円)	68,549	77,970
当期純利益(百万円)	44,917	50,641
1株当たり当期純利益(円)	280.36	324.18

決算年月 (単体)	2022年3月期	2023年3月期
売上高(百万円)	156,677	176,787
営業利益(百万円)	12,977	22,888
経常利益(百万円)	36,448	48,996
当期純利益(百万円)	31,130	40,790
1株当たり当期純利益(円)	194.21	261.08
1株当たり配当金(円)	72.00	90.00

②品目別販売金額・比率

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期		
	金額	構成比(%)	前年比(%)	金額	構成比(%)	前年比(%)
乳 製 品	101,801	65.0	109.1	124,484	70.4	122.3
清 涼 飲 料 等	23,584	15.0	97.7	23,979	13.6	101.7
小 計	125,385	80.0	106.7	148,463	84.0	118.4
化 粧 品	6,556	4.2	96.3	6,580	3.7	100.4
医 薬 品	16,992	10.8	93.8	12,763	7.2	75.1
そ の 他	7,743	5.0	30.5	8,979	5.1	116.0
合 計	156,677	100.0	93.4	176,787	100.0	112.8

③国内乳製品 売上数量内訳 (1日当たり本数)

(単位：千本)

	2022年3月期		2023年3月期	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
Newヤクルトシリーズ	4,038	98.4	4,211	104.3
ヤクルト400シリーズ ^{*1}	2,656	82.8	2,379	89.6
Yakult(ヤクルト)1000	1,147	268.6	2,038	177.7
Y1000 ^{*2}	131	---	517	395.9
ヤクルト1000シリーズ	1,277	299.2	2,555	200.0
その他ヤクルト類 ^{*3}	86	91.2	116	135.9
ヤクルトシリーズ 計	8,056	102.9	9,261	115.0
ジョア	563	95.5	544	96.6
ミルミルシリーズ	424	91.9	426	100.5
ソファールシリーズ	504	113.5	529	104.8
その他はっ酵乳 ^{*4}	91	89.5	88	96.1
はっ酵乳 計	1,582	99.1	1,586	100.3
その他 ^{*5}	147	95.5	149	101.2
合 計	9,786	102.1	10,997	112.4

※1：「ヤクルト400類」：ヤクルト400、ヤクルト400LT、ヤクルト400Wを合算

※2：「Y1000」：2021.10販売開始

※3：「その他ヤクルト類」：ヤクルトファイブ、毎日飲むヤクルト365(2022.1販売終了)、ヤクルトW(2021.12販売終了)を合算

※4：「その他はっ酵乳」：アロエヨーグルト(2023.3販売終了)、1日分の鉄&葉酸ヨーグルト(2023.3販売終了)を合算

※5：「その他」：BF-1、プレティオ、ヤクルトのはっ酵豆乳(2023.3販売終了)、カップ de ヤクルトを合算

④清涼飲料 主要品目売上数量内訳

(単位：千本)

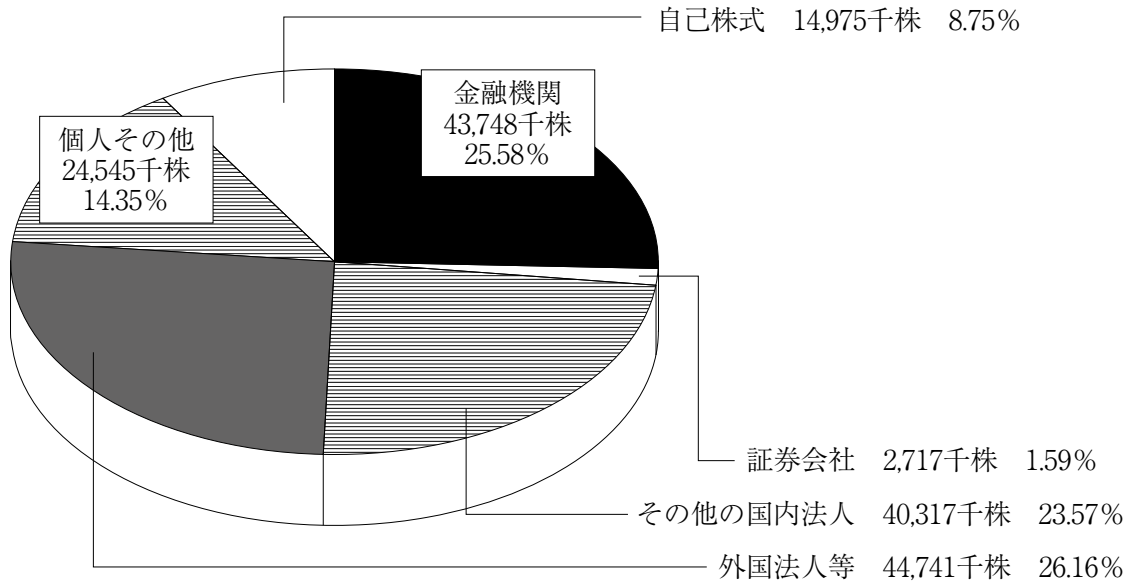
	2022年3月期		2023年3月期	
	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
蕃 爽 麗 茶	14,344	99.9	13,833	96.4
タ フ マ ン シ リ ー ズ	30,189	97.6	30,482	101.0
黒 酢 ド リ ン ク	22,758	94.3	22,705	99.8
豆 乳 シ リ ー ズ	30,368	94.2	27,944	92.0
ミ ル ー ジ ュ	19,464	101.5	20,504	105.3
ジ ュ ー ス	31,883	98.8	30,094	94.4
き にな る 野 菜	32,705	100.7	31,863	97.4
珈 琲 た い む	10,678	95.5	9,487	88.8
F I R E	43,892	96.5	42,152	96.0

※海外事業所の1日平均販売本数は16、17ページ参照

(13) 株式の状況

(2023年3月末日現在)

- ①発行済株式総数 171,045,418株
- ②上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場
- ③株主数 30,315名
- ④株式所有状況



⑤大株主

氏名または名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	22,318	13.05
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	6,778	3.96
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
共進会	3,878	2.27
松尚株式会社	3,417	2.00
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	2,589	1.51
GOVERNMENT OF NORWAY	1,829	1.07
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,783	1.04
ジェーピー モルガン チェース バンク 385781	1,736	1.02

※上記のほか、当社所有の自己株式14,975千株 (8.76%) があります。

3. ヤクルトグループの概要

ヤクルト本社を中心としたヤクルトグループは、日本国内においては、ヤクルト商品の販売を行う販売会社、「ヤクルト」の原料液を製品としてボトルングする子会社工場、その他の関係会社等を含め約140の会社と団体で構成されています。(海外を含めると約170社)

また、「ヤクルト」をはじめとする乳製品は、国内・海外あわせて毎日4,000万本以上が販売されています。

(1) 主要関連会社および団体等

	数	主要会社名
連結子会社	72	東京ヤクルト販売(株)、(株)岡山和気ヤクルト工場、ヤクルト商事(株)、(株)ヤクルトマテリアル、ヤクルトヘルスフーズ(株)、ヤクルトロジスティクス(株)、(株)ヤクルト球団、中国ヤクルト(株)
関連会社	18 (うち持分法適用会社数4社)	韓国ヤクルト(株)

社名	代表取締役社長	資本金 (百万円)	設立	所在地	事業内容
(株)ヤクルト球団 (東京ヤクルトスワローズ)	林田 哲哉	495	1950年5月 (昭和25年) 1968年12月 (昭和43年) 経営承継	東京都 港区	プロ野球の興行
ヤクルト商事(株)	松本 正俊	30	1964年11月 (昭和39年)	東京都 港区	乳製品等の販売用資機材の販売
(株)ヤクルト・マネジメント・サービス	若林 宏	30	1985年4月 (昭和60年)	東京都 港区	ビル施設の管理および警備
(株)ヤクルトマテリアル	後藤 善宏	50	1960年7月 (昭和35年)	東京都 港区	香料等の製造・販売
ヤクルト食品工業(株)	栗原 清行	90	1972年10月 (昭和47年)	佐賀県 神埼市	めん類の製造・販売
ヤクルトロジスティクス(株)	中村 博英	10	1969年10月 (昭和44年)	東京都 八王子市	乳製品等の輸送
ヤクルト薬品工業(株)	後藤 善宏	50	1986年7月 (昭和61年)	東京都 国立市	医薬品・酵素・試薬等の販売
ヤクルトヘルスフーズ(株)	蝦名 秀昭	99	2006年8月 (平成18年)	大分県 豊後高田市	保健機能食品、健康補助食品等の製造・販売

団 体 等	理 事 長	設 立	所 在 地	事 業 内 容
一般社団法人ヤクルト同仁協会	田 中 正 喜	1958年1月 (昭和33年)	東 京 都 区 東 港 区	離職金共済事業および 加入各社災害補償制度 の保険代理業
ヤクルト健康保険組合	後 藤 隆 夫	1970年11月 (昭和45年)	東 京 都 区 東 港 区	国の行う健康保険事業 の代行
ヤクルト企業年金基金	若 林 宏	1975年5月 (昭和50年)	東 京 都 区 東 港 区	企業年金
公益財団法人ヤクルト・ バイオサイエンス研究財団	石 川 文 保	1992年2月 (平成4年)	東 京 都 区 東 港 区	腸内フローラを主体と したバイオサイエンス に関する研究・助成等

※ボトリング会社は6ページを参照

(2) 国内販売会社数および従事者数

国内販売会社101社の社員およびヤクルトレディ(YL)、ヤクルトビューティ(YB)の人数は次のとおりで、約50,000人になります。

2023年3月末日現在

エ リ ア	販売会社数	従事者数		
		販売会社 社 員 [※]	ヤクルトレディ (YL)	ヤクルトビューティ (YB)
北 海 道	9	379	1,507	527
東 日 本	29	3,038	8,002	445
首 都 圏	15	3,610	7,390	569
中 日 本	18	3,424	8,333	702
西 日 本	30	2,749	7,477	1,332
計	101	13,200	32,709	3,575

※販売会社社員数のみ2023年4月1日現在

(3) 海外事業所数および従事者数

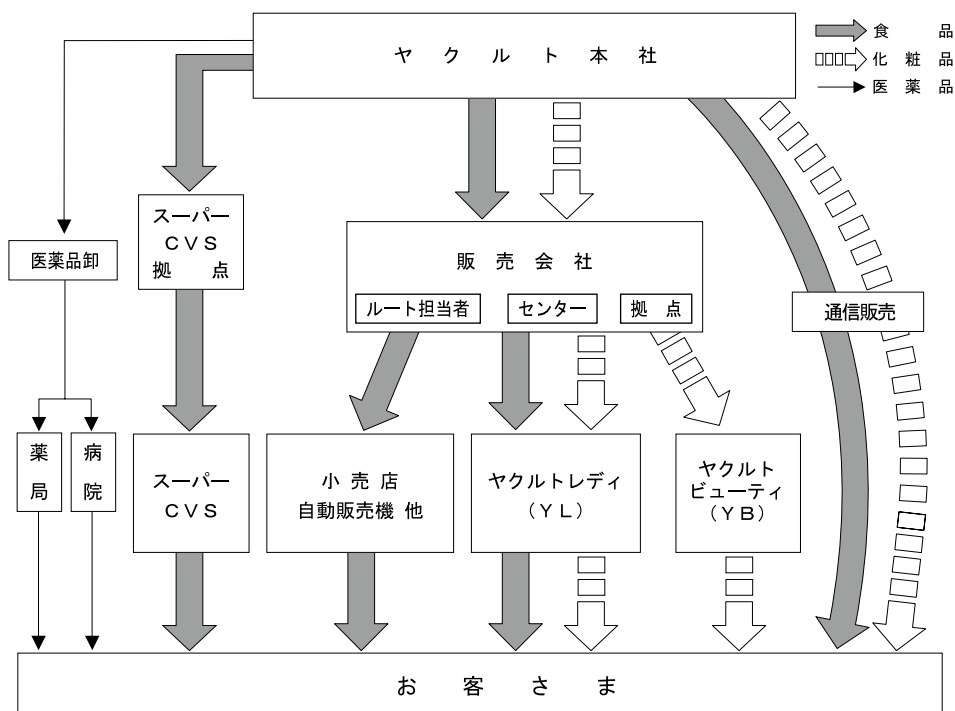
海外事業所29社の社員およびヤクルトレディ (YL) の人数は次のとおりで、約76,000人になります。

2022年12月末日現在

地 域	事業所数	従事者数	
		社 員	ヤクルトレディ (YL)
アジア・オセアニア	19	19,735	36,119
米 州	3	5,823	14,073
欧 州	7	193	0
合 計	29	25,751	50,192

(4) 国内の販売体制

①商品の流通



◇ヤクルトレディ (YL)

「Yakult (ヤクルト) 1000」および「ヤクルト400」類を中心として食品や化粧品などをお客さまへお届けしています。ヤクルトレディは、1963年から採用した独自の宅配システムで、その多くが独立した事業主です。食品衛生や商品の基礎知識について十分な研修を受け、お届け・販売をしています。

センターは、商品のストックヤード、ヤクルトレディの情報共有の場として設けられた販売会社の出先機関です。地域におけるお客さまとの重要な接点となっており、全国で2,390か所（2023年3月末日現在）あります。

また、子育て中のヤクルトレディが安心して仕事ができる環境づくりの一環として、販売会社により、877か所（2023年4月1日現在）の保育所が運営されています。

◇ルート担当者

小売店、自動販売機などにルートセールスによって販売しています。

◇ヤクルトビューティ (YB)

化粧品の訪問販売のほか、エステなどを行っており、美容、化粧品の専門知識を身につけています。

拠点は、商品のストックヤード、ヤクルトビューティの情報共有の場として設けられた販売会社の出先機関です。

◇ヤクルト届けてネット

インターネット利用者の増加と顧客ニーズの多様化に伴い導入したヤクルト独自の宅配専用WEB受注システムです。通常のヤクルトレディへの現金払いに加え、WEBではクレジットカード決済に対応しています。

◇Yakult Wellness Online (ヤクルトウェルネスオンライン)

ヤクルトグループの健康食品やサプリメントなどの商品を販売するECサイトです。

②自販機台数

(単位：台)

	2022年3月末		2023年3月末	
	台数	前年比 (%)	台数	前年比 (%)
自販機	41,783 (19,848)	97.4	40,047 (21,090)	95.8

() 内はヤクルト機以外の自販機への納入台数

4. 国際事業の概要

(1) 海外事業所

ヤクルトの海外進出は、1964年3月の台湾ヤクルト(株)を皮切りに、現在29の事業所および1つの研究所を中心に、39の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の販売を行っています。2022年12月末でのヤクルトレディ（YL）数は50,192人、取引店舗数は960,494店、社員数は25,751人（出向者は含まず）となっています。また、2022年（1～12月）の乳製品1日平均販売本数は、約3,155万本です。

地域	社名	※1 代表者	営業開始	所在地	※2 1日平均 販売本数 (万本)	※3 YL数	※3 取引店舗数	※3 社員数
アジア	台湾ヤクルト(株) (養樂多股份有限公司)	李道明	1964年3月 (昭和39年)	台北	64.5	840	42,062	195
	香港ヤクルト(株) (香港益力多乳品有限公司)	平野晋	1969年6月 (昭和44年)	香港	35.1	0	7,111	168
	タイヤクルト(株) (YAKULT (THAILAND) CO., LTD.)	キティバン・ヘタクン	1971年6月 (昭和46年)	バンコク	232.3	3,429	30	1,381
	韓国ヤクルト(株) (KOREA YAKULT(hy CO., LTD.))	金炳辰	1971年8月 (昭和46年)	ソウル	240.9	10,298	0	1,099
	フィリピンヤクルト(株) (YAKULT PHILIPPINES, INC.)	アルバート・ディスン	1978年10月 (昭和53年)	マニラ	377.7	4,119	124,479	1,434
	シンガポールヤクルト(株) (YAKULT (SINGAPORE) PTE., LTD.)	角南雅章	1979年7月 (昭和54年)	シンガポール	24.2	359	4,445	162
	インドネシアヤクルト(株) (PT.YAKULT INDONESIA PERSADA)	川口博史	1991年1月 (平成3年)	ジャカルタ	727.6	11,897	282,118	6,959
	オーストラリアヤクルト(株) (YAKULT AUSTRALIA PTY. LTD.)	大野謙二	1994年2月 (平成6年)	ダンデノン	31.6	0	7,169	109
	マレーシアヤクルト(株) (YAKULT (MALAYSIA) SDN. BHD.)	梁瀬弘樹	2004年2月 (平成16年)	シャラム	41.7	375	24,420	442
	ベトナムヤクルト(株) (YAKULT VIETNAM CO., LTD.)	原本俊彦	2007年9月 (平成19年)	ホーチミン	90.4	1,723	53,498	1,255
	インドヤクルト・ダノン(株) (YAKULT DANONE INDIA PVT. LTD.)	天野英治	2008年1月 (平成20年)	ニューデリー	23.4	304	13,037	329
	中東ヤクルト販売(株) (YAKULT MIDDLE EAST FZCO)	長田穰	2017年3月 (平成29年)	ドバイ	1.7	0	1,319	6
	ミャンマーヤクルト(株) (YAKULT MYANMAR CO., LTD.)※4	川崎秀樹	2019年8月 (令和元年)	ヤンゴン	0	0	0	2
広州ヤクルト(株) (広州益力多乳品有限公司)	梅原紀幸	2002年6月 (平成14年)	広州	259.6	2,239	94,392	1,921	

地域	社名	※1 代表者	営業開始	所在地	※2 1日平均 販売本数 (万本)	※3 YL数	※3 取引店舗数	※3 社員数
アジア ・ オセ ア ニア	中国ヤクルト(株) (養楽多(中国)投資有限公司)	梅原紀幸	2007年4月 (平成19年)	上海	297.4	228	145,142	2,942
	上海ヤクルト(株) (上海益力多乳品有限公司)	梅原紀幸	2005年5月 (平成17年)	上海	37.2	236	10,569	391
	北京ヤクルト販売(株) (北京雅可乳特貿易有限公司)	梅原紀幸	2006年6月 (平成18年)	北京	31.5	72	8,451	242
	天津ヤクルト(株) (天津養楽多乳品有限公司)	梅原紀幸	2011年8月 (平成23年) (生産開始)	天津	—	—	—	310
	無錫ヤクルト(株) (無錫養楽多乳品有限公司)	梅原紀幸	2015年6月 (平成27年) (生産開始)	無錫	—	—	—	388
米 州	ブラジルヤクルト商工(株) (YAKULT S/A IND. E COM.)	根本篤	1968年10月 (昭和43年)	サンパウロ	141.0	4,373	62,782	1,961
	メキシコヤクルト(株) (YAKULT S.A. DE C.V.)	吉牟田功	1981年10月 (昭和56年)	メキシコ シティ	368.4	9,700	26,737	3,715
	アメリカヤクルト(株) (YAKULT U.S.A. INC.)	三角豊	1999年10月 (平成11年)	ファウンテン バレー	63.2	0	16,931	147
欧 州	ヨーロッパヤクルト(株) (YAKULT EUROPE B.V.)	松原弘泰	1996年3月 (平成8年)	アルメア (オランダ)	2.5	0	1,902	123
	オランダヤクルト販売(株) (YAKULT NEDERLAND B.V.)	ピート・デッカー	1994年4月 (平成6年)	アムステル フェーン	16.9	0	3,760	13
	ベルギーヤクルト販売(株) (YAKULT BELGIUM N.V. /S.A.)	松原弘泰	1995年4月 (平成7年)	ブリュッセル	5.5	0	2,516	5
	イギリスヤクルト販売(株) (YAKULT UK LTD.)	吉村洋朗	1996年4月 (平成8年)	ロンドン	22.7	0	5,943	19
	ドイツヤクルト販売(株) (YAKULT DEUTSCHLAND GMBH)	平野達也	1996年4月 (平成8年)	ノイス	7.5	0	9,470	15
	オーストリアヤクルト販売(株) (YAKULT OESTERREICH GMBH)	松原弘泰	2005年12月 (平成17年)	ウィーン	1.0	0	3,091	3
	イタリアヤクルト販売(株) (YAKULT ITALIA S.R.L.)	松原弘泰	2007年2月 (平成19年)	ミラノ	9.2	0	9,120	15

※1：代表者は、2023年6月末日現在。

※2：1日平均販売本数は2022年（1～12月）の年間平均本数。

※3：ヤクルトレディ（YL）数、取引店舗数、社員数は2022年12月末日現在。

※4：ミャンマーにおいては、政情等に鑑み、営業・生産活動を一時的に見合わせています。

<海外事業所分布>



<29の事業所>

- | | |
|------------------|-----------------|
| ①台湾ヤクルト(株) | ⑩オーストラリアヤクルト(株) |
| ②ブラジルヤクルト商工(株) | ⑪オランダヤクルト販売(株) |
| ③香港ヤクルト(株) | ⑫ベルギーヤクルト販売(株) |
| ④タイヤクルト(株) | ⑬ヨーロッパヤクルト(株) |
| ⑤韓国ヤクルト(株) | ⑭イギリスヤクルト販売(株) |
| ⑥フィリピンヤクルト(株) | ⑮ドイツヤクルト販売(株) |
| ⑦シンガポールヤクルト(株) | |
| ⑧メキシコヤクルト(株) | |
| ⑨インドネシアヤクルト(株) | |
| ⑯アメリカヤクルト(株) | |
| ⑰広州ヤクルト(株) | |
| ⑱マレーシアヤクルト(株) | |
| ⑲中国ヤクルト(株) | |
| ⑳上海ヤクルト(株) | |
| ㉑オーストリアヤクルト販売(株) | |
| ㉒北京ヤクルト販売(株) | |
| ㉓イタリアヤクルト販売(株) | |
| ㉔ベトナムヤクルト(株) | |
| ㉕インドヤクルト・ダノン(株) | |
| ㉖天津ヤクルト(株) | |
| ㉗無錫ヤクルト(株) | |
| ㉘中東ヤクルト販売(株) | |
| ㉙ミャンマーヤクルト(株) | |

※営業開始順

<39の国と地域>

- | | |
|---------|----------|
| 台湾 | 中国 |
| ブラジル | マレーシア |
| 香港 | ニュージーランド |
| タイ | アイルランド |
| 韓国 | オーストリア |
| フィリピン | イタリア |
| シンガポール | カナダ |
| メキシコ | ベトナム |
| ブルネイ | インド |
| インドネシア | バリーズ |
| オーストラリア | マルタ |
| オランダ | スイス |
| ベルギー | アラブ首長国連邦 |
| フランス | オマーン |
| イギリス | バーレーン |
| ドイツ | カタール |
| ルクセンブルク | クウェート |
| スペイン | デンマーク |
| ウルグアイ | ミャンマー |
| アメリカ | |

なお、ブルネイはシンガポールヤクルトから、オランダ、ベルギー、フランス、イギリス、ドイツ、ルクセンブルク、スペイン、アイルランド、オーストリア、イタリア、マルタ、スイス、デンマークはヨーロッパヤクルトから、ウルグアイはブラジルヤクルトから、ニュージーランドはオーストラリアヤクルトから、カナダはアメリカヤクルトから、バリーズはメキシコヤクルトから、アラブ首長国連邦、オマーン、バーレーン、カタール、クウェートはフィリピンヤクルトおよびマレーシアヤクルトからそれぞれ製品供給を受け、販売しています。

(2) 海外工場の概要

(2023年3月末日現在)

地域	国・地域名	工場名	生産開始(年月)	住所(所在地)	製造生産品目	生産能力(万本)	HA CCP*	ISO* 9001	ISO* 14001	ISO* 22000	ISO* 45001	FSSC* 22000	GMP*	SQF*	HA LAL*		
アジア・オセアニア	台湾	中壠工場	1964年3月	桃園	ヤクルト ヤクルト300 ヤクルト300ライト Newヤクルト ジョア	210				○			○	○	○		
	香港	大埔工場	1969年6月	香港	ヤクルト ヤクルトライト	90	○	○		○							
	タイ	バンコク工場	1971年8月	バンコク	ヤクルト	190	○							○		○	
		アユタヤ工場	2009年2月	アユタヤ	ヤクルト ヤクルトライト	140	○							○		○	
	韓国	平澤工場	1978年9月	平澤	ヤクルトライト ヤクルトプレミアムライト	230	○										
		論山工場	1985年6月	論山	ヤクルト類なし	0	○										
		天安工場	1995年4月	天安	ヤクルト類なし	0	○							○			
	フィリピン	カランバ工場	1978年10月	カランバ	ヤクルト ヤクルトライト	470	○							○		○	
	シンガポール	シンガポール工場	1979年7月	セノコ地区	ヤクルト ヤクルトライト ヤクルトゴールド	30		○		○						○	
	インドネシア	スカブミ工場	1991年1月	スカブミ	ヤクルト	490					○						○
		スラバヤ工場 (モジョコルト工場)	2014年1月	モジョコルト	ヤクルト ヤクルトライト	550					○						○
	オーストラリア	オーストラリア工場	1994年2月	ダンデノン	ヤクルト ヤクルトライト	50	○	○									
	マレーシア	マレーシア工場	2004年2月	セレンバン	ヤクルトエース ヤクルトエースライト	70	○										○
	ベトナム	ベトナム工場	2008年4月	トゥアンアン	ヤクルト	100	○			○	○						
	インド	ソニパット・ライ 工場	2007年12月	ソニパット・ライ	ヤクルト ヤクルトライト	40	○	○	○			○					
	ミャンマー	ミャンマー工場	2019年8月	ヤンゴン	ヤクルト	10											
中国		広州第一工場	2002年6月	広州	ヤクルト	150	○	○	○								
		広州第二工場	2014年3月	広州	ヤクルト ヤクルトライト	200	○	○	○								
		佛山工場	2019年3月	佛山	ヤクルト ヤクルトライト	240	○	○	○								
		上海工場	2006年7月	上海	ヤクルト	170	○	○									
		天津工場 (第二棟含む)	2011年8月	天津	ヤクルト ヤクルトライト ヤクルト500億ライト	350					○						
		無錫第一工場 (第二棟含む)	2015年6月	無錫	ヤクルト ヤクルトライト	400	○	○									
		無錫第二工場	2023年1月	無錫	ヤクルト500億ライト	90											
米州	ブラジル	ロレーナ工場	1999年4月	ロレーナ	ヤクルト ヤクルト40 ヤクルト40LT ソファール	440	○			○				○			
	メキシコ	イスタパルカ工場	1981年10月	イスタパルカ	ヤクルト ソファールLT ソファールLTドリンク	400	○						○	○			
		グアダハラ工場	2004年9月	グアダハラ	ヤクルト ヤクルト40LT ソファールLTドリンク	170	○						○	○			
	アメリカ	カリフォルニア工場	2014年5月	ファウンテンバレー	ヤクルト ヤクルトライト	100	○								○		
欧州	オランダ	アルメア工場	1994年3月	アルメア	ヤクルト ヤクルトライト ヤクルトプラス	170		○	○			○					

※それぞれの用語の説明は6、7ページ参照

5. 食品事業の概要

(1) 乳製品

当社は「予防医学」の考え方にに基づき、健康を追究するという独自の道を歩み、有用微生物利用に関する研究および開発を続けてきました。ヤクルトの主力商品である乳製品乳酸菌飲料（「Newヤクルト」「ヤクルト400」「Yakult（ヤクルト）1000」「Y1000」「プレティオ」「BF-1（ビーエフワン）」等）やはっ酵乳（「ジョア」「ミルミル」「ソフル」等）は、このような背景と日々の研究成果から生まれたもので、生きたまま腸内に到達するように強化培養された乳酸菌 シロタ株とビフィズス菌 B Y株や B. ビフィダム Y株などの有用微生物の力を利用したものです。

①乳製品乳酸菌飲料

商品名	発売	内容量	容器	特長
トクホ Newヤクルト	2013.11	65ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が200億個含まれる。良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善し、おなかの調子を整える。
Newヤクルトカロリーハーフ	2013.11	65ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が200億個含まれる。「Newヤクルト」に比べ、カロリー・糖質を50%カットした、甘さひかえめタイプ。
トクホ ヤクルト400	1999.1	80ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が400億個含まれる。良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善し、おなかの調子を整える。
トクホ ヤクルト400LT	2008.9	80ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が400億個含まれる。良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善し、おなかの調子を整える。「ヤクルト400」に比べカロリーを30%カットした、甘さひかえめタイプ。
機能性表示食品 ヤクルト400W	2020.1 地域限定販売 2021.8 全国販売	80ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株400億個と、腸内のビフィズス菌を増やすガラクトオリゴ糖5.0gが含まれる。乳酸菌 シロタ株とガラクトオリゴ糖には良い菌を増やして腸内環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されている。
機能性表示食品 Yakult（ヤクルト）1000	2019.10 地域限定販売 2021.4 全国販売	100ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が1,000億個含まれる。一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、睡眠の質を高める機能がある。また、腸内環境を改善する機能があることが報告されている。
機能性表示食品 Y1000	2021.10	110ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が1,100億個含まれる。乳酸菌 シロタ株には一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、睡眠の質を高める機能、腸内環境を改善する機能が報告されている。
ヤクルトファイブ	2019.3	80ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が300億個と5種の栄養成分（食物繊維、カルシウム、ビタミンD、ビタミンC、ビタミンE）が含まれる。
トクホ プレティオ	2004.11	100ml	紙（5重構造）	乳酸菌 シロタ株とラクトコッカス ラクチスの2つの乳酸菌を混合培養することにより産生されるGABA（ γ -アミノ酸）が10mg以上含まれる。血圧が高めの方に適した飲料。
機能性表示食品 BF-1 （ビーエフワン）	2007.11 地域限定販売 2010.4 全国販売	100ml	紙（5重構造）	胃ではたらくビフィズス菌 B. ビフィダム Y株が30億個含まれる。食後の胃の負担をやわらげる機能がある。

②乳等を主要原料とする食品

商品名	発売	内容量	容器	特長
カップ de ヤクルト	2014.10 期間限定販売	80g	紙カップ	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が10億個含まれる。生クリーム仕立ての「食べるタイプ」のヤクルト。

③はっ酵乳

商品名		発売	内容量	容器	特長
ジョア	1日分のカルシウム & ビタミンD プレーン	2020.3	125ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が12.5億個以上と1日分*のカルシウム680mg、ビタミンD5.5μgが含まれるのむヨーグルト。
	1日分のカルシウム & ビタミンD ストロベリー		125ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が12.5億個以上と1日分*のカルシウム680mg、ビタミンD5.5μgが含まれるのむヨーグルト。
	1日分のマルチ ビタミン ブルーベリー		125ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が12.5億個以上と1日分*のビタミンB ₆ 1.3mg、ビタミンD5.5μg、ビタミンE6.3mgが含まれるのむヨーグルト。
	1日分の鉄&葉酸 マスカット		125ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が12.5億個以上と1日分*の鉄6.8mg、ビタミンD5.5μg、葉酸240μgが含まれるのむヨーグルト。
	カルシウム & ビタミンD プレーン		80ml	プラスチック (ポリスチレン)	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が8億個以上含まれるのむヨーグルト。
	鉄&葉酸 マスカット		80ml	プラスチック (ポリスチレン)	
ミルミル		2010.3	100ml	紙 (5重構造)	生きて大腸までとどいてはたらくビフィズス菌 BY株が120億個以上含まれる。
ミルミルS		2010.10	100ml	紙 (5重構造)	生きて大腸までとどいてはたらくビフィズス菌 BY株が120億個以上、ガラクトオリゴ糖1.0gのほか、食物繊維、鉄、葉酸、ビタミンB ₆ 、ビタミンB ₁₂ 、ビタミンE、コラーゲンが含まれる。
ソフール	トフホ ストロベリー	1975.8	100ml	紙カップ	生きて腸内に到達してはたらく乳酸菌 シロタ株が10億個以上含まれる食べるヨーグルト。良い菌を増やし悪い菌を減らして腸内環境を改善し、おなかの調子を整える。
	トフホ プレーン	1980.9.	100ml	紙カップ	
	トフホ LT	2001.2	100ml	紙カップ	
	元気ヨーグルト	2012.6	70g	紙カップ	

※栄養素等表示基準値に基づく

④その他

商品名	発売	内容量	容器	特長
アイス de ヤクルト	2022.6 ※2021.6に東急ストアで限定販売	110ml	紙カップ	乳酸菌 シロタ株とガラクトオリゴ糖が含まれる「ヤクルト®」風味のアイスクリーム。通信販売 (Yakult Wellness Online) 専用商品。

<参考：発酵乳、乳酸菌飲料の成分規格> 厚生労働省「乳及び乳製品の成分規格等に関する省令」

成分	種 類 別	発 酵 乳	乳 酸 菌 飲 料	
			乳製品乳酸菌飲料	乳酸菌飲料
無 脂 乳 固 形 分		8.0 % 以 上	3.0 % 以 上	3.0 % 未 満
乳酸菌数又は酵母数 (1ml当たり)		1 千 万 以 上	1 千 万 以 上	百 万 以 上
大 腸 菌 群		陰 性	陰 性	陰 性

(2) 清涼飲料水

① 茶系飲料

商品名	発売	内容量	容器	特長
お茶	1997.4	200ml 500ml、 280ml	紙(アセプティック) PET	厳選された国産茶葉を使用した緑茶。
トクホ Yakult 蕃爽麗茶	1998.8	200ml 500ml、 2000ml	紙(アセプティック) PET	糖の吸収をおだやかにするはたらきがあるグアバ葉ポリフェノールが含まれる無糖の健康茶飲料。食後の血糖値が気になる方に適した飲料。
手軽に蕃爽麗茶	2017.9	1g×20袋	スタンディングパウチ	グアバ葉ポリフェノールが手軽に摂れる粉末タイプの健康茶。
爽涼健茶	2011.10	200ml	紙(アセプティック)	大麦、はぶ茶、はと麦を中心に11種類の茶原料を使用し、オキナワモズクから抽出した「フコイダン」を80mg配合した混合茶飲料。

② 乳性飲料

商品名	発売	内容量	容器	特長
トクホ(規格基準型) Yakultの乳性飲料 ミルージュ	2008.10	500ml	PET	Yakult®風味の褐色系乳性飲料。おなかの調子を整えるはたらきのあるガラクトオリゴ糖が2.5g含まれる。
トクホ(規格基準型) Yakultの乳性飲料 ミルージュ200	2009.4	200ml	紙(アセプティック)	Yakult®風味の褐色系乳性飲料。おなかの調子を整えるはたらきのあるガラクトオリゴ糖が2.5g含まれる。
Yakultの乳性飲料 ミルージュCa125	2012.3	125ml	紙(アセプティック)	Yakult®風味の褐色系乳性飲料。カルシウム114mgとビタミンD0.5~3.0μgが含まれる。
栄養機能食品(ビタミンD) ミルージュ ソーダ	2017.4	300ml	ボトル缶	ヨーグルト風味の炭酸入り乳性飲料。ビタミンDが4.0μg含まれる。
ミルージュ	2019.3	280ml	PET	Yakult®風味の褐色系乳性飲料。

③ 栄養ドリンク

商品名	発売	内容量	容器	特長
タフマン	1980.11	110ml	ガラスびん	高麗人參110mgを配合した栄養ドリンク。
タフマンV	2004.3	110ml	ガラスびん	高麗人參、マルチビタミン(ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ 、ナイアシン)、ローヤルゼリー、ガラナエキスを配合した栄養ドリンク。
タフマンスーパー	2011.10	110ml	ガラスびん	高麗人參を1,000mgとシベリア人參、田七人參、ローヤルゼリーを配合した栄養ドリンク。
機能性表示食品 Tough-Man Refresh (タフマンリフレッシュ)	2018.3	190g	アルミ缶	高麗人參とビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ を配合した炭酸タイプのリフレッシュドリンク。ノンカフェイン。日常生活における軽い運動後の一時的な疲労感を軽減する機能が報告されているクエン酸を1,000mg含んでいる。

④ 豆乳類

商品名	発売	内容量	容器	特長
トクホ 調製豆乳 国産大豆使用	2008.6	200ml	紙(アセプティック)	国産大豆を100%使用した調製豆乳。コレステロールが気になる方の食生活改善に役立つ飲料。
ラズミ コーヒー	1982.5	200ml	紙(アセプティック)	ミルクコーヒー風味の豆乳飲料。
ラズミ バナナ	1999.2	200ml	紙(アセプティック)	バナナミルク風味の豆乳飲料。

⑤野菜・果実飲料

商品名	発売	内容量	容器	特長	
オレンジジュース	1974.6	125ml、200ml	紙(アセプティック)	オレンジ濃縮果汁を使用した100%ジュース。	
アップルジュース	1977.6	200ml	紙(アセプティック)	混濁タイプのりんご果汁を使用した100%ジュース。	
パイナップルジュース	1990.7	200ml	紙(アセプティック)	良質なパイナップルを使用した100%ジュース。	
グレープフルーツジュース	1999.3	200ml	紙(アセプティック)	厳選したグレープフルーツを使用した100%ジュース。	
完熟王林	2011.11 数量限定販売	160g	スチール缶	青りんごの代表品種「王林」のストレート果汁を使用したプレミアムタイプの100%ジュース。	
きになる野菜	アップル&キャロット	2017.9	200ml	紙(アセプティック)	りんご果汁(30%)とにんじん搾汁(20%)を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。
	白ぶどう&ほうれん草		200ml	紙(アセプティック)	白ぶどう果汁(30%)とほうれん草搾汁(10%)を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。
	1食分の鉄アップル&キャロット	2021.10	125ml	紙(アセプティック)	りんご果汁とにんじん搾汁を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。1食分*の鉄2.3mgを補給できる。
	たっぷり食物せんい白ぶどう&ほうれん草		125ml	紙(アセプティック)	白ぶどう果汁とほうれん草搾汁を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。食物繊維を2.1~3.1g補給できる。
	1食分のマルチビタミン赤ぶどう&トマト	2020.4	125ml	紙(アセプティック)	赤ぶどう果汁とトマト搾汁を組み合わせた野菜入り低果汁飲料。1食分*の水溶性ビタミン6種類(ビタミンC、ナイアシン、ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ 、ビタミンB ₁ 、葉酸)を補給できる。
きになる野菜100	贅沢野菜1日分	2017.9	200ml	紙(アセプティック)	トマト、にんじんを主体に30種類の野菜を使用した100%野菜ジュース。
	1食分の野菜β-カロテン		200ml	紙(アセプティック)	29種類の野菜と3種類の果実をミックスした100%のにんじんミックスジュース。1食分に相当する野菜(117g)を摂取できる。
	1食分の野菜ポリフェノール		200ml	紙(アセプティック)	30種類の野菜と4種類の果実をミックスした100%野菜・果実ミックスジュース。1食分に相当する野菜(117g)を摂取できる。
さっぱりりんご	2008.6	280ml	PET	りんご果汁入り低果汁清涼飲料。	
野菜ジュース	1976.5	200ml	紙(アセプティック)	トマトを主原料にセロリ、にんじん等の9種類の野菜をミックスした野菜ジュース。	
野菜ジュース(食塩無添加)	2000.4	200ml	紙(アセプティック)	トマトを主原料にセロリ、にんじん等の9種類の野菜をミックスした野菜ジュース。食塩無添加。	
トマトジュース	1999.9 数量限定販売	160g	スチール缶	もぎたての旬の完熟トマトを搾汁後すぐに缶に充填したトマトジュース。	
搾りたてにんじん	2015.2 数量限定販売	160g	スチール缶	旬のにんじん(九州産「黒田五寸」)を使用したにんじん濃縮飲料。	
フルーツ青汁	2020.4	200ml	紙(アセプティック)	青汁(10%)にフルーツ果汁(28%)をミックスしたスムージーテイストの青汁・果実混合飲料。	

※栄養素等表示基準値に基づく

⑥コーヒー

	商品名	発売	内容量	容器	特長
珈琲 たいむ	ミディアム	2006.4	200ml	紙(アセプティック)	厳選したアラビカ種100%のコーヒー豆を使用したスタンダードタイプのコーヒー。
	カフェラテ	2006.4	200ml	紙(アセプティック)	厳選したアラビカ種100%のコーヒー豆と牛乳を25%使用したカフェオレタイプのコーヒー。
	ブラック	2011.4	200ml	紙(アセプティック)	厳選したアラビカ種100%のコーヒー豆を使用したブラック無糖コーヒー。

⑦乳飲料

	商品名	発売	内容量	容器	特長
	マイルドカフェ・オ・レ	2005.7	250ml	紙(アセプティック)	コーヒー入り乳飲料。
	マイルドいちご・オ・レ	2011.10	250ml	紙(アセプティック)	いちご果汁入り乳飲料。

⑧その他

	商品名	発売	内容量	容器	特長
	機能性表示食品 ヤクルトの おいしいはっ酵果実	2015.2 地域限定販売 2018.1 全国販売	125ml	紙(アセプティック)	乳酸菌L P0132 (L. プランタルム YIT 0132) で温州みかん果汁を発酵させた乳酸菌はっ酵果汁飲料。乳酸菌L P0132には花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる鼻の不快感を軽減する機能があることが報告されている。
	トクホ(規格基準型) 黒酢ドリンク	2002.9 地域限定販売 2004.3 全国販売	125ml、 1000ml	紙(アセプティック)	純米熟成黒酢10mlと紀州産南高梅果汁を組み合わせたビネガードリンク。おなかの調子を整えるはたらきのあるガラクトオリゴ糖が125ml当たり2.5g含まれる。
	機能性表示食品 肝ファイン	2021.10 地域限定販売 2023.4 全国販売	160g	スチール缶	紫サツマイモ由来アントシアニンが401mg含まれる。紫サツマイモ由来アントシアニンには、健康な人の健常域でやや高め肝機能に関連する酵素 (AST、 γ -GTP) 値の低下に役立つ機能があることが報告されている。
	レモリア	2001.6	250ml	紙(プリズマ)	テアニン、レモン果汁と7種のハーブエキスを使用したリラックス飲料。
	クイックチャージ	2019.3	555ml	PET	水分およびミネラルを素早く補給できる、水分補給や熱中症対策に適した飲料。
	トクホ(規格基準型) オリゴ糖入り梅ドリンク	2011.9	200ml	紙(アセプティック)	紀州南高梅果汁を10%使用した果汁入り飲料。おなかの調子を整えるはたらきのあるガラクトオリゴ糖が2.5g含まれる。
	カフェ・オ・レ	2016.9	250ml	紙(アセプティック)	コーヒー入り清涼飲料。
	いちご・オ・レ	2018.9	250ml	紙(アセプティック)	いちご果汁入り清涼飲料。

(3) 麺類[※]

商品名	発売	特長
麵許皆伝	しょうゆ味	[めん]国産大麦若葉エキス末とこんにゃくの主成分であるマンナン粉を練りこんだ緑色で独特のもちもちした食感のフライめん。 [スープ、ソース]ご当地風ラーメン・屋台風焼きそばの風味を再現し、ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 、カルシウムを強化した粉末スープ、ソース。
	みそ味	
	しお味	
	とんこつ味	
	ソース焼そば	
乾麵物語	カレーうどん	厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。鰹だしの風味がきいた和風カレースープ。
	とんこつしょうゆらーめん	厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。本醸造再仕込しょうゆでまろやかに仕上げた上品な味わいの白湯スープ。
	しょうゆらーめん	厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。本醸造しょうゆで仕上げた旨味あふれる香り豊かなスープ。
	汁なし担々麵	厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。豆板醤のぴりっとした辛みに甜麵醬(中国甘辛味噌)でコクを付けた甘辛さが麵とよく絡むスープ。
	冷し中華	2016.5 期間限定販売 厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。爽やかなレモン風味にリング酢を加えたまろやかなスープ。
	魚介醤油つけ麵	2021.5 厳選した小麦粉を独自のシステムで製麺し、コシの強さと噛みごちを追求した乾麵。濃厚なコクの豚骨エキスに鰹節や鯖節などの魚介の旨味を合わせた味わい深いスープ。
佐賀の神埼	そうめん	佐賀県神埼の清らかな水と厳選した原料小麦粉を使用した乾麵。
	ひやむぎ	
	中めん	
	うどん	
	そば	

※ヤクルトレディがお届けする麺類

(4) 健康食品[※]

商品名	発売	特長
毎日うれしいケールの青汁	2012.2	良質なケールにガラクトオリゴ糖、食物繊維を加えた青汁。
機能性表示食品 ハイパーケール	2021.4	肌のうるおいを保つグルコラファニンを含む新品種「ハイパール」を使用した青汁。
栄養機能食品(葉酸、ビタミンD) ごくごく飲める大麦若葉栄養アップ	2017.11	葉酸、ビタミンD、鉄、カルシウムを配合した青汁。
サプリメント	グルコサミン	2012.9 グルコサミン1,500mgにコンドロイチン、低分子ヒアルロン酸を配合。
	コラーゲン	2009.10 コラーゲン5,000mg、セラミド600μg、エラスチン10mgを配合。
	機能性表示食品 ブルーベリーA(エース)	2018.4 ビルベリー果実由来アントシアニン57.6mgを1日目安量2粒に配合。ビルベリー果実由来のアントシアニンは目をよく使うことによるピント調節機能の低下を緩和することが報告されている。
	栄養機能食品(ビタミンE) DHA&EPA	2013.11 DHA300mgとEPA200mgを1日目安量5粒に配合。

※ヤクルトレディがお届けする健康食品

(5) その他

商品名	発売	特長
通信販売 マルチプロバイオティクスサプリメント	2020.11	乳酸菌 シロタ株とビフィズス菌 B Y株が、1包にそれぞれ1億個以上含まれる生菌含有食品。通信販売専用商品。

6. プロバイオティクスと保健機能食品

(1) プロバイオティクスの考え方

近年、日本や欧米を中心に、人の腸で良いはたらきをする乳酸菌やビフィズス菌などの微生物を「プロバイオティクス」として健康維持・増進に役立てようという考えが注目を集めています。プロバイオティクスは、抗生物質（アンチバイオティクス）に対比される言葉で、「共生」を意味するプロバイオシスを語源としています。

このプロバイオティクスの概念は、ヤクルトの創始者・代田 稔が20世紀初頭から提唱していた「予防医学」「健腸長寿」の考え方そのものです。

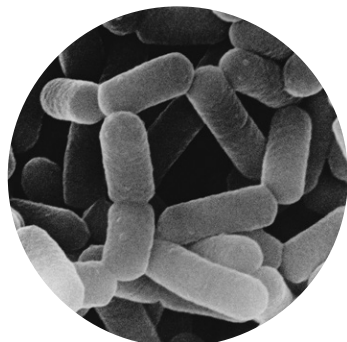
【プロバイオティクスの定義】

1989年にヨーロッパの研究者が提唱した「腸内フローラのバランスを改善することで人に有益な作用をもたらす、生きた微生物」が広く受け入れられてきました。その後、国際的に議論され、現在では「十分量を摂取したときに宿主に有益な効果を与える生きた微生物」(FAO/WHO^{*})と定義されています。

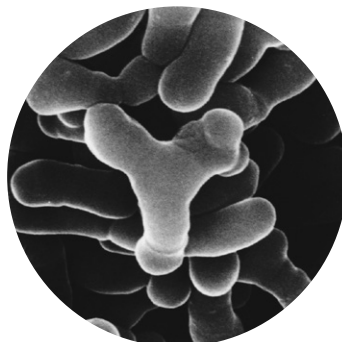
※FAO：国際連合食糧農業機関 WHO：世界保健機関

(2) ヤクルトのプロバイオティクス

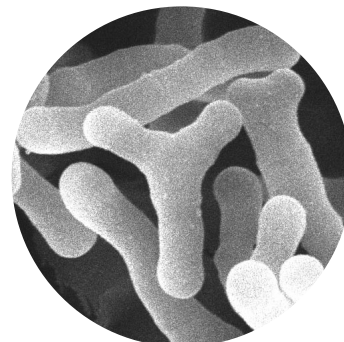
乳酸菌 シロタ株やビフィズス菌 B Y株は、各種安全性試験や長年の飲用経験に裏打ちされた安全な菌で、胃液などの消化液に負けずに生きたまま腸にとどき、確かな効果を発揮する代表的なプロバイオティクスです。また、B. ビフィダム Y株は、胃ではたらくプロバイオティクスです。



乳酸菌 シロタ株
(主に小腸ではたらく)



ビフィズス菌 B Y株
(主に大腸ではたらく)



B. ビフィダム Y株
(胃ではたらく)

【プレバイオティクス】

プロバイオティクスが微生物を指すのに対して、プレバイオティクスは①消化管上部で分解・吸収されない、②大腸に共生する有益な細菌の選択的な栄養源となり、それらの増殖を促進する、③大腸の腸内フローラ構成を健康的なバランスに改善し維持する、④人の健康の増進維持に役立つ、の条件を満たす食品成分を指します。

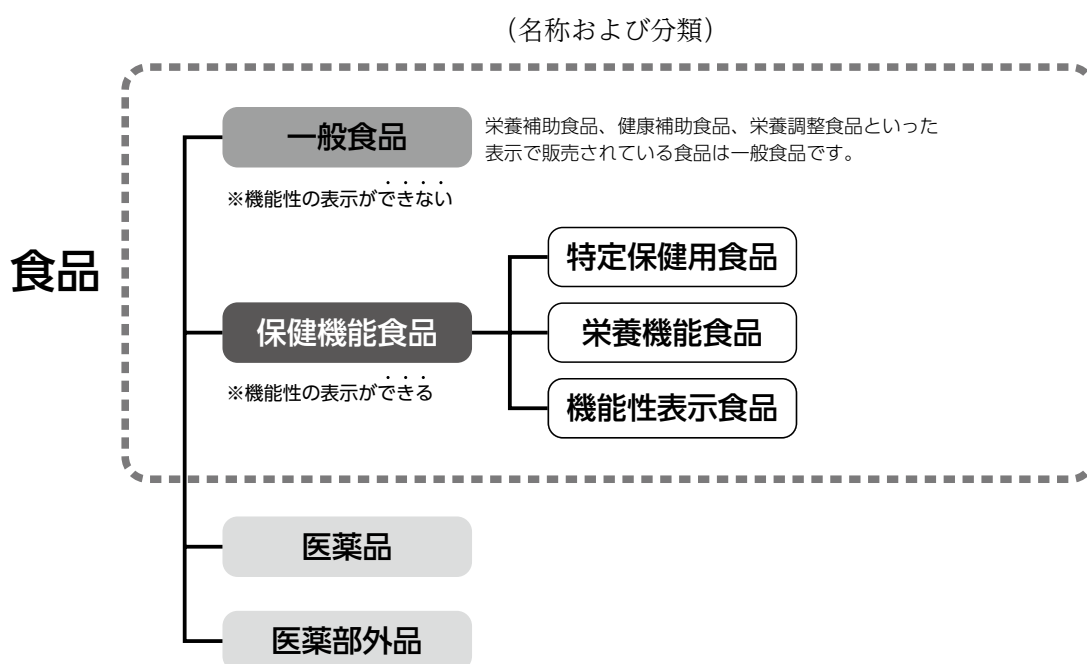
プレバイオティクスの摂取により、ビフィズス菌などの増殖促進作用、整腸作用、ミネラル吸収促進作用などの人の健康に有益な効果が報告されています。

【シンバイオティクス】

シンバイオティクスとは、プロバイオティクスとプレバイオティクスを組み合わせたものです。1995年、英国の微生物学者ギブソンらによって提唱されました。プロバイオティクスとプレバイオティクスと一緒に摂取することで、腸内フローラのバランスを整えるプロバイオティクスと腸内の有用菌を増やすプレバイオティクスの両者のはたらきを利用できると考えられています。

(3) 保健機能食品制度

食品のうち、国が安全性や有効性などについて一定の条件を満たした食品を「保健機能食品」として表示し、販売することを認める制度で、現在は食品の目的や機能などの違いにより、図のように「特定保健用食品」「栄養機能食品」「機能性表示食品」の3つの種類に分けられます。



① 特定保健用食品

特定保健用食品は、「健康に関わる効果」を食品に具体的に表示することを国が認めた、日本が世界に先駆けて始めた画期的な制度です。

健康の維持増進に役立つことが科学的根拠に基づいて認められ、機能性の表示が許可されています。効果や安全性について、国が個別に審査し表示を許可しています。

② 栄養機能食品

栄養機能食品は消費者庁長官が定めた栄養成分量の規格基準に適合していれば、個別の許可申請や届出等を行うことなく、その栄養成分の機能を容器に表示することができる食品です。

栄養機能食品として栄養成分の機能を表示できる食品は、次のミネラル類6種類とビタミン類13種類およびn-3系脂肪酸のいずれかについて、栄養機能食品の規格基準に適合したものです。

ミネラル類	亜鉛、カリウム、カルシウム、鉄、銅、マグネシウム
ビタミン類	ナイアシン、パントテン酸、ビオチン、ビタミンA、ビタミンB ₁ 、ビタミンB ₂ 、ビタミンB ₆ 、ビタミンB ₁₂ 、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK、葉酸
脂肪酸	n-3系脂肪酸

③機能性表示食品

事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品です。販売前に安全性および機能性の根拠に関する情報などを消費者庁長官へ届け出し、受理されたものです。ただし、特定保健用食品と異なり、消費者庁長官の個別の許可を受けたものではありません。

(4) 当社の該当商品

①特定保健用食品

【Newヤクルト】(2013.8 表示許可を取得)

【ヤクルト400】(1999.6 表示許可を取得)

【ヤクルト400LT】(2007.12 表示許可を取得)

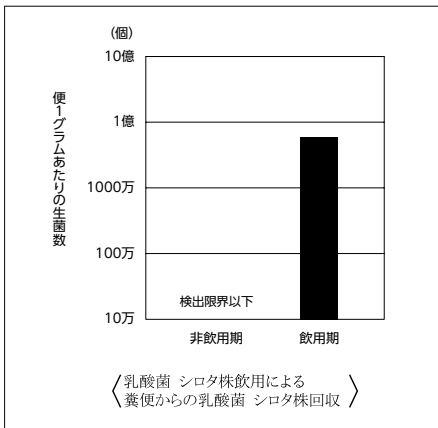
【ソフル(プレーン、LT、ストロベリー)】(プレーン、ストロベリーは、1999.6 表示許可を取得)
(LTは、2016.4 表示許可を再取得)

(許可表示)

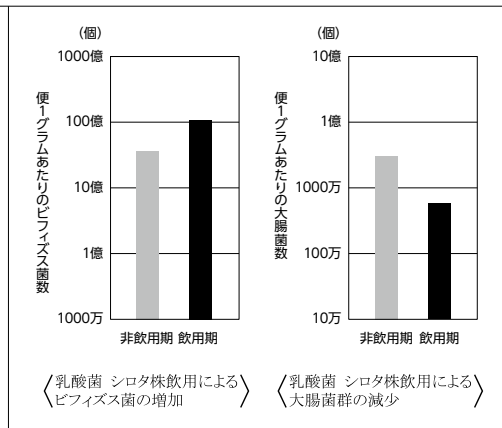
生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) の働きで、良い菌を増やし悪い菌を減らして、腸内の環境を改善し、おなかの調子を整えます。

<参考：データで示す乳酸菌 シロタ株のはたらき>

1 生きたまま腸に到達する

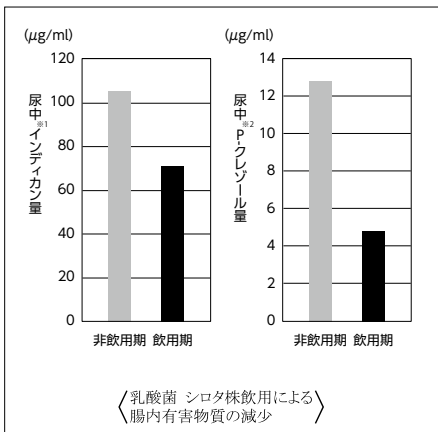


2 良い菌を増やし、悪い菌を減らす



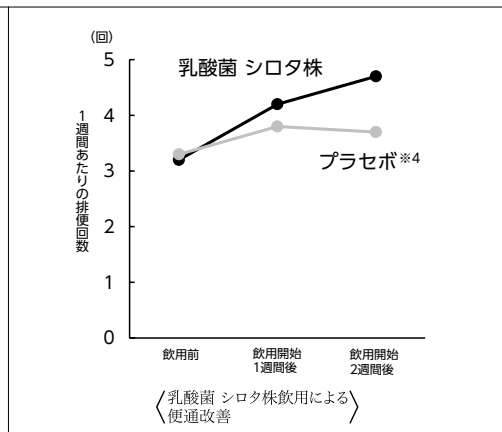
田中 隆一郎・大脇 真「健康人の腸内細菌叢とその代謝活性および免疫能に及ぼす *Lactobacillus casei* 発酵乳の飲用効果」腸内フローラと食餌 理研腸内フローラシンポジウム 12. 光岡知足 編, 学会出版センター, 1994, 85-104.

3 腸内の環境を改善する



K. Tohyama et al. Effect of Lactobacilli on Urinary Indican Excretion in Gnotobiotic Rats and in Man. Microbiology and Immunology. 1981, 25(2), 101-112

4 おなかの調子を整える^{※3}



K. Matsumoto. The Effects of a Probiotic Milk product Containing *Lactobacillus casei* Strain Shirota on the Defecation Frequency and the Intestinal Microflora of Sub-optimal Health State Volunteers: A Randomized Placebo-controlled Cross-over Study. Bioscience Microflora. 2006, 25(2), 39-48

※1 インディカン：腸内でつくられる有害物質であるインドールは、肝臓で解毒されて、インディカンになり尿中に排泄されます。尿中インディカン量を測定することにより、腸内のインドール量を推定できます。

※2 pクレゾール：フェノール類の一種で腸内の有害菌によってつくられる発がん促進物質。

※3 「ヤクルト400LT」についてのデータです。

※4 プラセボとは、味や外見は同じで、有効成分を含まないものことです。

【プレティオ】(2004.9 表示許可を取得)

(許可表示)

本品はγ-アミノ酪酸(GABA)を含んでおり、血圧が高め^{*}の方に適した飲料です。

※正常高値血圧(収縮期血圧においては130~139mmHg)に該当する方を想定しています。

【ヤクルト蓄爽麗茶】(2000.3 表示許可を取得)

(許可表示)

グァバ葉ポリフェノールの働きで、糖の吸収をおだやかにするので、食後の血糖値が気になる方に適した飲料です。

【調製豆乳 国産大豆使用】(2008.4 表示許可を取得)

(許可表示)

本品は豆乳を原料とし、血清コレステロールを低下させる働きがある大豆たんぱく質を摂取しやすいように工夫されているので、コレステロールが気になる方の食生活の改善に役立ちます。

【オリゴ糖入り梅ドリンク】(2010.4 表示許可を取得)

【黒酢ドリンク】(2013.8 表示許可を取得)

【ヤクルトの乳性飲料 ミルージュ】(2013.12 表示許可を取得)

【ヤクルトの乳性飲料 ミルージュ200】(2013.12 表示許可を取得)

(許可表示)

本品はガラクトオリゴ糖が含まれておりビフィズス菌を増やして腸内の環境を良好に保つので、おなかの調子を整えます。[いずれも規格基準型]

②栄養機能食品

【サブリズム DHA&EPA】

(栄養機能表示)

ビタミンEは、抗酸化作用により、体内の脂質を酸化から守り、細胞の健康維持を助ける栄養素です。

【ミルージュ ソーダ】

(栄養機能表示)

ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。

【ごくごく飲める大麦若葉 栄養アップ】

(栄養機能表示)

葉酸は、赤血球の形成を助けるとともに、胎児の正常な発育に寄与する栄養素です。

ビタミンDは、腸管でのカルシウムの吸収を促進し、骨の形成を助ける栄養素です。

③機能性表示食品

【Yakult (ヤクルト) 1000】

(届出表示)

本品には乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)が含まれるので、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげ、また、睡眠の質(眠りの深さ、すっきりとした目覚め)を高める機能があります。さらに、乳酸菌 シロタ株(L. カゼイ YIT 9029)には、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

(届出番号) D279

【Y1000】

(届出表示)

本品には乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) が含まれます。乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) には、一時的な精神的ストレスがかかる状況でのストレスをやわらげる機能や睡眠の質 (眠りの深さ、すっきりとした目覚め) を高める機能があることが報告されています。さらに、腸内環境を改善する機能があることが報告されています。

(届出番号) E625

【ヤクルト400W】

(届出表示)

本品には生きたまま腸内に到達する乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) とガラクトオリゴ糖が含まれます。乳酸菌 シロタ株 (L. カゼイ YIT 9029) とガラクトオリゴ糖には、良い菌 (乳酸菌、ビフィズス菌) を増やして腸内の環境を改善し、お通じを改善する機能があることが報告されています。

(届出番号) F151

【BF-1 (ビーエフワン)】

(届出表示)

本品には、B. ビフィダム Y株 (B. ビフィダム YIT 10347) が含まれるので、食後の胃の負担をやわらげる機能があります。

(届出番号) D589

【Tough-Man Refresh (タフマン リフレッシュ)】

(届出表示)

本品にはクエン酸が含まれます。クエン酸には、日常生活における軽い運動後の一時的な疲労感を軽減する機能があることが報告されています。

(届出番号) G1426

【ヤクルトの美味しいはっ酵果実】

(届出表示)

本品には乳酸菌 LP0132 (L. プランタルム YIT 0132) が含まれます。乳酸菌 LP0132 には、花粉、ホコリ、ハウスダストなどによる鼻の不快感を軽減する機能があることが報告されています。

(届出番号) H386

【肝ファイン】

(届出表示)

本品には紫サツマイモ由来アントシアニンが含まれています。紫サツマイモ由来アントシアニンには、健康な人の健常域でやや高めの肝機能に関連する酵素 (AST、 γ -GTP) 値の低下に役立つ機能があることが報告されています。

(届出番号) F578

【サプリズム ブルーベリーA (エース)】

(届出表示)

本品にはビルベリー果実由来アントシアニンが含まれます。ビルベリー果実由来アントシアニンには、VDT作業 (パソコンやスマートフォンなどのモニター作業) で目をよく使うことによって生じるピント調整機能の低下を緩和することが報告されています。

(届出番号) C285

【ハイパーケール】

(届出表示)

本品にはグルコラファニンが含まれるので、肌のうるおいを保ち、乾燥を和らげます。肌の乾燥が気になる方におすすめです。

(届出番号) E735

7. 化粧品事業の概要

乳酸菌飲料でからだの内側・おなかの調子をととのえ、乳酸菌生まれの成分を配合した化粧品でからだの外側・お肌のすこやかさをまもる「内外美容・健腸美肌（けんちょうびはだ）」の考え方に基づくヤクルトの化粧品は「Yakult Beautiens（ヤクルト ビューティエンス）」というブランド名でお届けしています。

創始者である代田 稔の「からだに良い乳酸菌はお肌にも良い」という発想から研究を重ね、厳選した乳酸菌から得られる保湿成分「S. E.（シロタエッセンス）^{*1}」を開発し、1955年に「ヤクルトアストリン」と「ヤクルトクリーム」を全国発売しました。その後1971年から全国組織による本格的な販売を行い、現在に至るまで乳酸菌と皮膚科学の探究をたゆまず続け、さまざまなオリジナル保湿成分を生み出しています。

<当社オリジナル保湿成分>

・ S. E.（シロタエッセンス）^{*1}

多数の乳酸菌株の中からヤクルトが選び抜いた乳酸菌でミルクを発酵させて得られる保湿成分です。お肌本来のうるおい成分である天然保湿因子とよく似ているため、お肌によくなじみます。

※1 乳酸菌はっ酵エキス（ミルク）<成分名：ホエイ（2）>

・ 乳酸菌はっ酵エキス（アロエ）

薬効の高いアロエベラの葉肉を乳酸菌で発酵させて得られる保湿成分です。肌なじみが良く、すこやかなお肌へ導きます。

・ 高分子ヒアルロン酸

乳酸菌からつくり出した水分保持力の高いヒアルロン酸で、みずみずしいお肌をたもちます。

・ HBヒアルロン酸

乳酸菌からつくり出したヒアルロン酸で、お肌（角質層）にスーッといきわたり、うるおいをたもつ保湿成分です。

（HBヒアルロン酸には高分子ヒアルロン酸がふくまれています。）

・ HBヒアルロン酸（持続型）

乳酸菌からつくり出したヒアルロン酸で、お肌（角質層）の深部まで浸透し、うるおいが長時間持続する保湿成分です。

（HBヒアルロン酸（持続型）には高分子ヒアルロン酸がふくまれています。）

・ ビフィズス菌はっ酵エキス（大豆）

良質な大豆（豆乳）をビフィズス菌で発酵させ、イソフラボンを活性型にした保湿成分です。ハリ・弾力のあるみずみずしい素肌へ導きます。

・ ラメラ粒子

お肌のラメラ構造に着目して開発された保湿成分です。乱れがちなお肌をすこやかな状態にととのえ、ハリのあるみずみずしいお肌へ導きます。また、成分内にS. E.（シロタエッセンス）をふくんでいます。

・ 水丁香エキス

数百種類の植物の中から選び抜いた「水丁香」から抽出した植物エキスです。お肌をすこやかにたもちます。

これらの当社オリジナル保湿成分を配合した基礎化粧品を中心に、仕上化粧品や頭髮化粧品、トイレットリーなど総合的な商品開発を行い、全国のヤクルトビューティやヤクルトレディまたは通信販売を通じて、お客さまにお届けしています。

主要ブランド

<基礎化粧品>

・「ヤクルト ビューティエンス ブリリアント 〜ザ クリーム〜」

厳選した素材を使用し、乳酸菌由来のオリジナル保湿成分を贅沢に配合したヤクルト ビューティエンス 史上最高峰の高機能クリームです。

・「パラビオ」シリーズ (スキンケア・ベースメイク)

長年にわたる肌構造研究から生まれた、ヤクルトオリジナル保湿成分「ラメラ粒子」を配合したヤクルト ビューティエンス最高峰のエイジングケア^{※2}シリーズです。

※2 年齢に応じたお手入れのこと

・「リベシィ」シリーズ

「乳酸菌^{※3}×植物」のチカラでうるおいあふれるすこやかな素肌へ導くシリーズです。

※3 乳酸菌由来の保湿成分配合

・「リベシィホワイト」シリーズ

美白^{※4}有効成分と「乳酸菌^{※3}×植物」のチカラを活かしたヤクルト独自の透白^{※5}メソッドを採用。シミとくすみ^{※6}を防ぎ、透白肌へ導くシリーズです。

※4メラニンの生成をおさえ、シミ・ソバカスを防ぐこと

※5 美白とうるおいにより、明るく透明感あふれるお肌へ導くこと ※6 乾燥による

・「ラクトデュウ」シリーズ

乳酸菌^{※3}のチカラで弾むようなうるおいに満ちる素肌へ導くスキンケアシリーズです。

ヤクルトの長年の乳酸菌研究から生まれた保湿成分がお肌(角質層)に素早く浸透して、うるおいを長時間抱え込み、ふっくらとしたハリ感を生み出します。

・美容液 (「クリスタンス ホワイトトリペア エッセンス」、 「エジティックス モイストリペア エッセンス」、 「ビスイクル リフトリペア エッセンス」、 など)

肌悩み別の美容液は「美白^{※4}」「乾燥による小ジワを目立たなくする^{※7}」「ハリ・弾力を与える」など、それぞれの効果が期待できます。

※7 効能評価試験済み

・「イキテル」シリーズ

弱酸性、無香料、無着色、鉱物油フリー、パラベンフリー、アルコールフリーでフレッシュでみずみずしい使い心地を実感できます。通信販売専用商品です。

<仕上化粧品>

・「グランティア EX」シリーズ

お肌にうるおいと華やかな彩りとどけ、本来の美しさを引き出します。

<ヘアケア>

・「ラミーヌ S. E.」シリーズ

大人の髪悩みに応える“髪健康”を考えたヘアケアシリーズです。

<ボディケア>

・「コクルム」シリーズ

大人の乾燥肌に向けた高保湿ボディケアシリーズです。

・「ポッシュママ」シリーズ

ボディケアを中心としたファミリー向けのシリーズで、乳酸菌由来のオリジナル保湿成分を配合し、うるおいを与えます。

<オーラルケア>

・ヤクルト 薬用アパコート S. E. <ナノテクノロジー>

オリジナル成分「S. E. (シロタエッセンス)^{※8}」と薬用成分「薬用ハイドロキシアパタイト (むし歯予防成分)」などを配合。「むし歯・歯周病予防^{※9}」と美白^{※10}ができる薬用歯みがきです。

※8 乳酸菌はっ酵エキス(ミルク) <ホエイ(2):矯味剤>

※9 歯肉炎・歯槽膿漏の総称

※10 汚れを落とすことで歯を本来の白さへ導くこと

8. 医薬品事業の概要

ヤクルトの医薬品事業は、1961年に食品用や医薬品原料用酵素を中心とした製品を製造・販売したことに始まります。その後、1967年に医療用医薬品の販売を開始し、現在では、医薬部外品などにもその分野を広げています。

(1) 指定医薬部外品

乳酸菌製剤「ヤクルト整腸薬」(現在は販売中止)は一般用医薬品として、1979年に発売されました。その後、ビフィズス菌・乳酸菌製剤「ヤクルトBL整腸薬」(1995年発売)が2004年7月から指定医薬部外品へと分類が変更され、ドラッグストアなどで販売されています。

(2) 医療用医薬品

医療用酵素製剤などから始まったヤクルトの医療用医薬品は、1975年に発売された乳酸菌製剤「ビオラクチスカプセル」(現在は販売中止)をはじめとしてヤクルトオリジナルの薬剤のほか、後発医薬品も多く手がけてきました。その後、がんとその周辺領域に特化する施策により、抗がん剤の販売が主となっています。その中でも、「カンプト」と「エルプラット」はヤクルトの医薬品事業を支える柱となっています。

抗がん剤では、「カンプト」と「エルプラット」のほかに「オペプリム」(2002年)、『ゲムシタビン点滴静注用「ヤクルト」』(2010年)、『イマチニブ錠「ヤクルト」』(2013年)、『ドセタキセル点滴静注「ヤクルト」』(2015年)、『レトロゾール錠「ヤクルト」』(2015年、現在は販売中止)、『カペシタビン錠「ヤクルト」』(2019年)、『ゲフィチニブ錠「ヤクルト」』(2019年)、『ペメトレキセド点滴静注用「ヤクルト」』(2021年)、『ボルテゾミブ注射用「ヤクルト」』(2022年)や、抗がん剤の作用を増強する活性型葉酸製剤『レボホリナート点滴静注用「ヤクルト」』(2007年)を、またがんの周辺領域では骨吸収抑制剤『ゾレドロン酸「ヤクルト」』(2014年)を販売しています。その他、高カロリー輸液用微量元素製剤「ボルビックス注」(1999年)と「ボルビスール注」(2002年)も販売しています。

< 「カンプト」と「エルプラット」 >

「カンプト」(一般名：イリノテカン塩酸塩水和物)は、1983年に中央研究所で合成されたヤクルト最初の抗がん剤で、1994年1月に小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がんの適応で製造承認^{*}を取得し、同年4月に発売されました。

一方、「エルプラット」(一般名：オキサリプラチン)は海外から導入された白金錯体系の抗がん剤で、DNAに結合し、腫瘍細胞の増殖を抑制する働きを持っています。2005年3月に「エルプラット注射用100mg」として進行・再発の大腸がんの効能以輸入承認^{*}を取得し、同年4月に発売しました(現在、剤形変更により液剤として販売されている)。

大腸がんの化学療法において「カンプト」を含む多剤併用のFOLFIRI療法、「エルプラット」を含むFOLFOX療法ならびにCAPOX療法では、一次・二次治療として用いることにより、その投与順序に関係なく治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がんの患者さんに対し、生存期間を20か月以上に延長する結果が報告されるようになりました。

現在、FOLFIRI療法ならびにFOLFOX療法を分子標的薬剤と併用する治療法では、生存期間を30か月以上に延長する結果が報告されており、いずれの治療も大腸がんに対する標準的治療として、世界中で広く用いられています。

「エルプラット」を含むFOLFOX療法は、2009年に結腸がんに対する術後補助化学療法（アジュバント療法）を、2018年に小腸がんに対する効能追加の承認をそれぞれ取得しました。特にアジュバント療法は大腸がんの根治が期待される治療であり、「エルプラット」は大腸がんの治療に貢献できる中心的な薬となっています。

また、2013年には、「カンプト」、「エルプラット」、「レボホリナート」等を併用するFOLFIRINOX療法として、治癒切除不能なすい臓がんに対する効能追加が承認され、治療選択肢が少ないすい臓がんの患者さんに、新たな治療選択肢を提供できるようになりました。

さらに、「エルプラット」については、2015年3月に治癒切除不能な進行・再発胃がんに対する効能追加が、2015年11月には胃がんの術後補助化学療法に対する効能追加が承認されました（これらを合わせ、効能・効果は胃がんとなっています）。オキサリプラチンを含む治療法は、欧米の胃がん治療ガイドラインにおいて標準治療の一つに位置づけられています。日本で患者数の多いがんの一つである胃がんにおいても、適正使用の推進に取り組み、患者さんや医療従事者に新たな治療選択肢を提供していきます。

<カンプトおよびエルプラットの承認ならびに効能追加等の状況>

年 月	カンプト	エルプラット
1994（平成6）年1月	小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がんの適応で製造承認*	
1994（平成6）年4月	「カンプト注」発売	
1995（平成7）年9月	胃がん、結腸・直腸がん、乳がん、皮膚有棘細胞がん、悪性リンパ腫の効能追加	
2005（平成17）年3月		「レボホリナート」「フルオロウラシル」の静脈内持続投与方法との併用において進行・再発の結腸・直腸がんの効能・効果として輸入承認*
2005（平成17）年4月		「エルプラット注射用100mg」発売
2008（平成20）年3月	「カンプト点滴静注」へ販売名変更の承認	
2008（平成20）年6月	「カンプト点滴静注」発売	
2009（平成21）年1月		「エルプラット注射用50mg」発売
2009（平成21）年8月		結腸がんにおける術後補助化学療法（アジュバント療法）の効能追加
2009（平成21）年9月		進行・再発の結腸・直腸がんを効能・効果として、他の抗悪性腫瘍剤との併用における用法・用量の追加承認
2010（平成22）年8月		「エルプラット点滴静注液50mg」「エルプラット点滴静注液100mg」の製造販売承認*（エルプラット注射用は販売終了）
2011（平成23）年11月		結腸がんにおける術後補助化学療法（アジュバント療法）を効能・効果として、他の抗悪性腫瘍剤との併用における用法・用量の追加承認
2012（平成24）年8月		「エルプラット点滴静注液200mg」の製造販売承認
2013（平成25）年3月	小児悪性固形腫瘍の効能追加（公知申請）	
2013（平成25）年12月	「カンプト」「エルプラット」「レボホリナート」等を併用するFOLFIRINOX療法として、治癒切除不能な（未治療の）膵がんの効能追加	
2015（平成27）年3月		治癒切除不能な進行・再発胃がんに対する効能追加（3週間ごと130mg/m ² （B法））（公知申請）
2015（平成27）年11月		胃がんの術後補助化学療法に対する効能追加 なお、2015年3月に承認された「治癒切除不能な進行・再発の胃がん」と合わせ、効能・効果は「胃がん」となる
2018（平成30）年9月		小腸がんに対する効能追加（公知申請）
2023（令和5）年3月		胃がんを効能・効果として、他の抗悪性腫瘍剤との併用における用法・用量（2週間ごと85mg/m ² （A法））の追加（公知申請）

※製造販売承認：2009年の薬事法改正（薬機法）により、従前の製造承認ならびに輸入承認という名称が製造販売承認に変更された。

(3) 医薬品の研究開発

医薬品の研究開発分野においては、高齢社会の進展を踏まえ抗がん剤およびその周辺領域を中心に、研究開発を進めています。

新薬パイプラインについては、がん細胞の増殖を抑える分子標的薬である「レスミノスタット」の皮膚T細胞リンパ腫に対する国際共同第Ⅱ相臨床試験を実施中です。

<医薬品類一覧表>

分類	品名	主な効能・効果	
医療用医薬品	抗悪性腫瘍剤	エルプラット点滴静注液50mg、同100mg、同200mg	大腸がん、膵がん、胃がん
		カンプト点滴静注40mg、同100mg	大腸がん、卵巣がん、胃がん
		カペシタビン錠300mg「ヤクルト」	乳がん、大腸がん
	抗悪性腫瘍剤（チロシンキナーゼインヒビター）	イマチニブ錠100mg「ヤクルト」、同200mg	白血病
	抗悪性腫瘍剤（上皮成長因子受容体（EGFR）チロシンキナーゼ阻害剤）	ゲフィチニブ錠250mg「ヤクルト」	肺がん
	抗悪性腫瘍剤（プロテアソーム阻害剤）	ボルテゾミブ注射用3mg「ヤクルト」	多発性骨髄腫
	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	ゲムシタピン点滴静注用200mg「ヤクルト」、同1g	膵がん
		ペメトレキセド点滴静注用100mg「ヤクルト」、同500mg	肺がん
	タキソイド系抗悪性腫瘍剤	ドセタキセル点滴静注20mg/1mL「ヤクルト」、同80mg/4mL	胃がん、前立腺がん
	副腎癌化学療法剤・副腎皮質ホルモン合成阻害剤	オペプリム	副腎がん
	骨吸収抑制剤	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「ヤクルト」	悪性腫瘍による骨病変
		ゾレドロン酸点滴静注4mg/100mLバッグ「ヤクルト」	
	活性型葉酸製剤	レボホリナート点滴静注用25mg「ヤクルト」、同100mg	大腸がん、胃がん、フルオロウラシルの抗腫瘍効果の増強
高カロリー輸液用微量元素製剤	ボルピックス注	高カロリー静脈栄養の亜鉛、鉄、銅、マンガンおよびヨウ素の補給	
	ボルピサル注	高カロリー静脈栄養の亜鉛、鉄、銅およびヨウ素の補給	
医療用医薬品原薬	抗腫瘍性植物成分	カンプト（イリノテカン塩酸塩）	-（製造用原料）
指定医薬部外品	ビフィズス菌・乳酸菌製剤	ヤクルトBL整腸薬	整腸、腹部膨満感
特定保健用食品		オリゴメイトS-HP 500g、5kg	ビフィズス菌増殖効果

<医薬品売上高>

(単位：百万円)

	2022年3月期		2023年3月期	
	実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
カンプト	734	74.3	452	61.6
エルプラット	8,918	91.1	7,158	80.3
ゲムシタピン	1,789	83.2	1,691	94.5
その他医薬品	6,251	120.4	4,034	64.5
小計	17,694	97.6	13,336	75.4
収益認識基準による 控除額	△702	---	△572	---
合計	16,992	93.8	12,763	75.1

<MRの人数>

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
人数	161名	153名	131名

<ヤクルト薬品工業(株)取り扱い商品>

分	類	品名
試薬 ^{※1}	植物プロトプラスト調製	セルラーゼオノズカR-10、RS
	植物葉肉の単細胞化	マセロチームR-10
	ビフィズス菌数測定用	TOSプロピオン酸寒天培地
食品加工用酵素	野菜・果実・穀類加工	セルラーゼオノズカ3S
		セルラーゼY-NC
	野菜・果実加工	マセロチームA
		マセレイティングエンザイムY
	果汁清澄	ペクチナーゼSS、HL
	醸造	ユニアーゼ2K、S、30、60F、BM-8 パンセラーゼBR
	製菓・製パン	パンチダーゼP リリパーゼA-10D ユニアーゼL
プロテアーゼYP-SS パンチダーゼNP-2、MP アロアーゼAP-10、XA-10、NP-10		
水産資材	水質浄化用	マリンベッドN
種苗資材	採種用	種採り物語、バイオひょうたんごっこ
ガラクトオリゴ糖	食品用 ^{※2}	オリゴメイト55N、55NP、DP
	飼料用	飼料用ガラクトオリゴ糖
フコイダン	食品用	ヤクルトフコイダン

※1 試薬用酵素等は、日本をはじめアメリカやヨーロッパなど世界各地で、バイオテクノロジーの研究分野（プロトプラストの調製・細胞融合・遺伝子操作など）において役立っています。

※2 「オリゴメイト」は、ガラクトオリゴ糖を主成分としており、ビフィズス菌と乳酸桿菌の増殖能力が強く、難う蝕性などの性質を兼ね備えた、難消化性で低甘味度の食品素材です。

9. 研究活動の概要

(1) 中央研究所の概要

① 設立 1955（昭和30）年4月

② 所長 南野昌信

③ 所員 約300名

④ 研究内容

当研究所では、予防医学的見地から人の健康の維持・増進に役立つ食品・医薬品・化粧品の素材開発と利用の研究を行っています。

食品分野では、健康の維持・増進とQOL向上に寄与する機能をもった素材の開発研究を行っています。

医薬品分野では、マイクロバイオームを活用した医療に役立つ製品開発を、また、化粧品分野では皮膚科学に基づく安全性の高い有効な素材の開発研究を行っています。

これらの素材開発に必要な基盤となる微生物学・栄養学・生理学・免疫学・生化学・生物学・有機化学・発酵工学・天然物化学・薬学・分析化学等の知識・技術の導入に積極的に取り組んでいます。

<主な研究成果>

※主な研究成果については中央研究所ホームページもご覧ください。(https://institute.yakult.co.jp/)

発表年	研 究 成 果
2007年	<ul style="list-style-type: none"> ○腸内細菌のDNAだけでなくRNAも解析対象とすることにより、これまでよりも格段に高い検出感度で腸内細菌を定量できる最新鋭腸内フローラ解析システム「YIF-SCAN[®]: Yakult Intestinal Flora SCAN」が完成 ○全身性炎症反応症候群（SIRS）患者へのシンバイオティクス投与（L. カゼイ・シロタ株およびB. プレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）の適用による腸内環境改善効果、感染性合併症予防効果を実証
2008年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用により、潰瘍性大腸炎の症状が改善される可能性をパイロット試験で確認 ○「YIF-SCAN[®]」を用いて、乳児のビフィズス菌フローラの形成過程を解明 ○健康人の糞便から下痢などの有害作用を有するコハク酸を除去できる菌を含む、4つの新菌種の分離培養に成功し、国際機関に登録
2009年	<ul style="list-style-type: none"> ○B. プレーベ・ヤクルト株の継続飲用による過敏性腸症候群患者の症状改善効果を実証 ○当社で開発した「TOSプロピオン酸寒天培地」に抗生物質ムピロシンを加えた培地が、ビフィズス菌数標準測定法の公定培地に採用 ○「YIF-SCAN[®]」を用いて、迅速かつ高感度に血液中の細菌を測定し、臨床診断に応用できることを実証
2010年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用による急性下痢症の発症予防効果をインド・コルカタ市の小児で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、スポーツ選手の上気道感染症の発症を低減することを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎に伴う発熱症状を軽減することを介護老人施設の高齢者で実証 ○ガラクトオリゴ糖を含むB. プレーベ・ヤクルト株発酵乳の継続飲用が、季節性の肌の乾燥を抑制し、角層細胞形態を正常化することを健康女性で実証 ○低免疫状態にある化学療法中の小児悪性腫瘍患者へのB. プレーベ・ヤクルト株の投与は、腸内環境を改善し感染に伴う発熱頻度を低減することを実証
2011年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用による便性状改善効果をベルギーの健康成人で実証 ○前立腺がんの予防効果が期待されているエコールを作り出す腸内細菌を発見し、日本の成人での検出率、エコール産生に関わる酵素を解明 ○新生児のビフィズス菌は、妊娠中の母親の腸内から伝播することを世界で初めて証明 ○硬変肝切除手術患者に対するシンバイオティクス投与（L. カゼイ・シロタ株およびB. プレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）が、肝切除後の腸管機能の低下および感染性合併症の発症抑制に有効であることを実証

発表年	研 究 成 果
2012年	<ul style="list-style-type: none"> ○シンバイオティクス投与（L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）が、肺炎等の院内感染を引き起こす緑膿菌の数を減少させることを長期人工呼吸器患者で実証 ○「YIF-SCAN[®]」による抗菌薬関連下痢症原因菌を高感度かつ高精度に定量する方法を開発し、健常成人の腸内に同原因菌が常在することを確認 ○新生児の腸内に定着するビフィズス菌および乳酸桿菌が、母乳ではなく母親の腸内および産道内から伝播することを解明 ○乳酸菌飲料に含まれるL. カゼイ・シロタ株が生きたまま腸内に到達することを、日本人とは生活習慣の異なるタイの健常成人で実証 ○乳児のビフィズス菌優勢フローラ形成には、分娩様式や栄養などが影響していることを確認
2013年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株の習慣的摂取による乳がん発症リスクの低減を疫学研究で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、胃切除手術後の後遺症である便秘異常の改善に役立つことを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用による肝機能改善効果をアルコール性肝硬変患者で実証 ○分娩様式の違いは新生児腸内へのビフィズス菌の定着に影響を与えることを解明 ○L. カゼイ・シロタ株やB. ブレーベ・ヤクルト株の代謝物である短鎖脂肪酸が腸管上皮細胞の増殖に影響を及ぼしていることを解明
2014年	<ul style="list-style-type: none"> ○日本人2型糖尿病患者の腸内フローラの乱れを検証し、腸内環境の改善が疾病の治療に役立つ可能性を確認 ○「YIF-SCAN[®]」を用いて、当社プロバイオティクスを摂取する機会の多いヤクルトレディの腸内環境が良好であることを実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、出産後間もない産褥期の女性の便秘症状および痔の発症を軽減することを実証 ○B. ビフィダム YIT 10347を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、機能的消化管障害患者の消化器症状および心理症状を改善し、一般成人の胃の不快症状を改善することを確認
2015年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. プランタルム YIT 0132 発酵果汁の継続飲用が、アトピー性皮膚炎患者の症状改善およびQOL向上に役立ち、アレルギー性疾患に関わる免疫指標を改善することを確認 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、健常小児の腸内フローラや腸内環境を改善し、健康の維持・増進に役立つ可能性を確認
2016年	<ul style="list-style-type: none"> ○乳児期のビフィズス菌優勢の腸内フローラ形成に関わる、ビフィズス菌の母乳オリゴ糖の利用性と共生機構を分子レベルで解明 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳製品の習慣的摂取が、高齢者の高血圧発症リスクの低下につながる可能性を実証 ○B. ブレーベ・ヤクルト株の継続摂取が、小児の外科手術に伴う周術期感染症の発症を抑え、腸内フローラや腸内環境の乱れおよび菌血症を改善することを確認 ○ガラクトオリゴ糖の継続摂取が、育児粉乳で哺育される乳児の便中ビフィズス菌を増加させ、腸内フローラが母乳栄養児型へ変化することを確認 ○L. プランタルム YIT 0132 発酵果汁の継続飲用が、通年性アレルギー性鼻炎患者の症状改善およびQOL向上に役立つことを確認 ○大うつ病性障害患者と健常者との比較により、腸内有用菌が少ないと、うつ病リスクが高まる可能性を実証
2017年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、慢性炎症の原因となる腸内細菌の血中への移行（バクテリアトランスロケーション）を抑制することを2型糖尿病患者で実証 ○術前化学療法中のシンバイオティクス（L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）投与は、腸内環境を改善し、化学療法による重篤な有害事象の軽減に有用であることを胸部食道がん患者で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む発酵豆乳飲料の継続飲用が、肌性状および腸内フローラの改善に寄与する可能性を閉経前の健常女性で確認 ○ガラクトオリゴ糖の飲用が、低下したビフィズス菌の占有率を回復し、2型糖尿病の改善に役立つ可能性を確認 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、上気道感染症の発症率と有病日数を減少させ、免疫指標であるNK活性の低下およびストレス指標である唾液コルチゾールの上昇を抑えることを、健常な男性勤労者で確認 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、ストレス状況下における睡眠状態の悪化を軽減することを健常な医学部生で実証
2018年	<ul style="list-style-type: none"> ○宇宙環境（国際宇宙ステーション）で約1か月間保管したL. カゼイ・シロタ株の凍結乾燥粉末を含むカプセルは、地上で保管した対照品と同等の機能が維持されることを確認 ○B. ビフィダム YIT 10347を含む乳酸菌飲料の継続飲用が、健常成人における食後の不快症状や胃痛などを含む消化管症状を緩和することを確認 ○シンバイオティクス（L. カゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖）の投与は、集中治療室で人工呼吸器管理下にある敗血症患者の腸内フローラバランスおよび腸内環境を改善し、患者の予後の改善に役立つことを確認

発表年	研 究 成 果
2019年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳製品の摂取頻度が高いほど便秘になるリスクが低く便中の乳酸菌数が多いこと、適度な運動との組み合わせが便秘リスクの低減に効果的であることを高齢者を対象とした疫学研究で実証 ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の継続摂取が、摂取期間中の総発熱日数および発熱時の持続日数を短くすることを、高齢者福祉施設に入居している高齢者を対象にした試験で確認 ○L. プランタルム YIT 0132発酵果汁の継続飲用が、花粉飛散初期のスギ花粉症症状を軽減すること、本効果に制御性T細胞 (Treg) の変化が関与する可能性を確認 ○B. ブレーベ・ヤクルト株の継続摂取が、低出生体重児の体重を増加させ、便中のビフィズス菌の検出率、総菌数、有機酸濃度で高値を示すことを確認 ○新生児集中治療室 (NICU) で保育された早産児は、正期産児との比較でビフィズス菌の定着が遅れブドウ球菌群が多いこと、また、ビフィズス菌優勢の腸内細菌叢が形成された産児は、腸内環境が良好に保たれることを確認
2020年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. カゼイ・シロタ株を含む乳製品の継続飲用が、便秘や急性呼吸器感染症の発症を抑制することをベトナムの幼児で確認 ○L. カゼイ・シロタ株または、B. ブレーベ・ヤクルト株を含む乳製品の単独および同時摂取により、両菌株が回腸末端部へ到達し、数時間にわたり同部位の細菌叢を占有することを、内視鏡的逆行性腸管挿入法により実証 ○L. プランタルム YIT 0132発酵果汁飲料とL. カゼイ・シロタ株を含む乳製品の同時飲用は、花粉症症状を軽減することをスギ花粉症症状の成人で確認 ○生後2年間の乳幼児は、腸内細菌叢や短鎖脂肪酸構成が段階的に変化すること、および母乳保育期における腸内の乳酸とギ酸の濃度上昇に、母乳オリゴ糖の利用性が高いビフィズス菌が主要な役割を果たすことを確認
2021年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. パラカゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の摂取が、うつ症状を有する患者 (大うつ病性障害または双極性障害) のうつ症状および睡眠の質を改善することを確認 ○L. パラカゼイ・シロタ株を含む乳製品の習慣的摂取が、高齢者の腸内細菌叢の安定化に貢献する可能性を疫学的調査により確認 ○手術前のシンバイオティクス (L. パラカゼイ・シロタ株、B. ブレーベ・ヤクルト株およびガラクトオリゴ糖) 摂取が、術前化学療法を受ける食道がん患者のバクテリアルトランスロケーションの発生率を抑えること、重度の胃腸障害を軽減することを確認 ○ヒトの大腸各部位における生きた菌叢構成を解析し、いくつかの細菌群の生菌構成比が部位により異なることを確認
2022年	<ul style="list-style-type: none"> ○L. パラカゼイ・シロタ株を含む乳酸菌飲料の摂取が、T細胞やB細胞、NK細胞などの免疫細胞に指示を与える役割を担う貪食細胞 (単球/マクロファージ、樹状細胞) の活性化を誘導する可能性を、健康な男性勤労者で確認 ○シンバイオティクス (L. パラカゼイ・シロタ株およびB. ブレーベ・ヤクルト株+ガラクトオリゴ糖) の摂取が、術前化学療法中の食道がん患者の腸内フローラのバランスおよび腸内環境を改善し、化学療法中の有害事象を抑制することを確認

※L. カゼイ・シロタ株は、2020年4月以降、L. パラカゼイ・シロタ株に分類されています。

<宇宙における J A X A との共同研究>

当社と国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 (J A X A) は、国際宇宙ステーション (I S S) を利用した共同研究を、2014年4月から開始しました。これは、I S S に長期滞在する宇宙飛行士を対象に、プロバイオティクス (L. カゼイ・シロタ株) の継続摂取による免疫機能および腸内環境に及ぼす効果の科学的検証を目標とするものです。この研究成果を来るべき宇宙探査時代における宇宙飛行士の健康維持や、宇宙環境におけるプロバイオティクスの効果に関する研究のさらなる発展につなげることを目指します。

2016年度に行ったプロバイオティクス (L. カゼイ・シロタ株) を含む長期常温保管可能なカプセルの I S S 搭載影響評価実験により、地上の常温保管と同程度の生菌数を維持できることを確認しました。

2017年度からは I S S に長期滞在する宇宙飛行士が L. カゼイ・シロタ株を継続摂取し、宇宙環境での免疫機能および腸内環境に及ぼす効果を科学的に検証する、世界初の宇宙実験を開始しました。

⑤組 織

<信頼性保証室>

研究所における各種基準適合性確認への対応、ならびに試験・研究業務・研究データの信頼性保証に関する業務を行っています。

<事務部>

研究所運営上の総務事項全般および施設管理全般に関する業務を行っています。

<研究管理センター>

研究戦略および広報戦略を策定し、国内外の学術活動の調整・推進を行っています。また、研究所における効率のかつ生産性の高い研究活動の実施環境を整え、その推進を支援しています。さらに所外他部署と連携して営業活動を学術面から支援しています。

<基盤研究所>

腸内フローラと健康の関わりを研究し、健腸長寿の概念を科学的に立証して、当社製品の科学的根拠ならびに予防医学における価値を明らかにする業務を行っています。

<微生物研究所>

製造用菌株の種菌製造・評価・育種および新たな発酵技術の開発を行っています。また有用微生物やその関連物質の探索・収集と機能解析、微生物情報や関連データの収集・体系化を行い、製品開発への応用を目指した新たな生理機能を有する微生物や関連物質・情報の発掘・資源化を行っています。

<食品研究所>

基礎研究の成果や当社独自の研究資産を利用するとともに、新規素材の探索、有効性や栄養機能の評価、生物工学的技術の応用を通して、健康やQOL向上に寄与できる付加価値の高い新規機能性食品の開発を行っています。

<医薬品研究所>

当社独自の基礎研究に基づき、マイクロバイームを活用した医療分野に役立つ付加価値の高い製品開発を行っています。

<化粧品研究所>

皮膚科学の基盤研究と発酵技術に基づき、有用な皮膚生理活性物質を探索しています。有効性の検証や乳化系への配合等の技術的研究を通して、新規化粧品の開発研究を行っています。

<安全性研究所>

食品・医薬品・化粧品の開発に関わる安全性試験研究の実施、ならびに基礎研究および食品・医薬品・化粧品の開発研究に関わる支援を行っています。

<分析試験研究所>

研究・開発の基盤となる各種分析技術の開発研究と、その利用に基づく、製品の品質・安全性の確認・保証、基礎・臨床研究、各種受託分析、研究支援等を行っています。

(2) 非営利法人ヤクルト本社ヨーロッパ研究所の概要

- ①設 立 2005（平成17）年5月
- ②社 長 石川 文 保
- ③所 在 地 ベルギー・アントワープ市テクノロジーパーク内バイオインキュベーター
- ④研究内容

ヨーロッパの人々に対するプロバイオティクスの有効性を検証する研究などを行いながら、現地でのサイエンスネットワークを広げ研究活動のグローバル化を進めています。

10. ヤクルトのサステナビリティの取り組み

当社は「私たちヤクルトグループは、企業理念に基づいた企業活動を通じて、グループを取り巻くすべてのステークホルダーから信頼されるよう努力し、共生していきます。」という「CSR基本方針」を掲げるとともに、CSRのグローバルスタンダードであるISO 26000に則し、ESGの分類で整理した「CSR行動計画」を策定しています。これらの方針・計画に沿って、地域社会活動や健康情報の提供・発信、科学技術の振興、環境保全活動さらには健康経営等のCSR（企業の社会的責任）活動を行っています。

また、グローバルな動きとして環境・社会・ガバナンスといった非財務情報に着目する「ESG投資」への対応や、国連で採択された「SDGs」（持続可能な開発目標）について、活動体系に組み込み、CSRとして取り組むこととしています。広報室 CSR推進室では、これらの活動の詳細について、サステナビリティレポートに掲載し公表しています。2021年5月には「国連グローバル・コンパクト(UNG)」に署名し、人権、労働、環境、腐敗防止に関わる10原則を支持し、社会に寄与する良き企業市民として、グローバル社会と協調しながら、積極的に活動を推進していきます。

<マテリアリティ>

ヤクルトグループでは、気候変動問題を含むさまざまな社会課題を踏まえ、今後自社のみならず、地球や社会の持続可能性を高めるために、バリューチェーンで優先して取り組むべき重要課題であるマテリアリティとして「イノベーション」「地域社会との共生」「サプライチェーンマネジメント」「気候変動」「プラスチック容器包装」「水」を特定しました。今後は、マテリアリティをもとに、戦略および計画を策定しながら、企業理念および「人と地球の共生社会」の実現を推進し、ヤクルトグループのみならず、地球や社会の持続可能性を高めます。

(1) 地域社会活動

名 称	内 容
愛の訪問活動 ・契約自治体数 117か所 ・対象高齢者数 33,646人 ・実施販売会社数 51社 ・実施ヤクルトレディ数 2,514人 (2023年3月末日現在)	ヤクルトレディがヤクルト商品をお届けしながら一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、話し相手になったりする活動を、1972年から行っています。これは、福島県郡山市のヤクルトレディが一人暮らしの高齢者が誰にも看取られずに亡くなった話に心を痛め、自分が担当する地域の一人暮らしの高齢者に自費でヤクルトを配るという自発的な行為から始まりました。 この活動に販売会社および民生委員等が共鳴し、さらに自治体をも動かし、全国に活動の輪が広がっていきました。「愛の訪問活動」は、普段、誰もあまり会話を交わすことのない高齢者たちを励まし、高齢者たちにとって大きな支えとなっています。 この活動はボランティア関係者、行政の福祉担当者からも非常に高い評価を受け、1991年には、(一財)経済広報センターより「優秀企業広報特別賞」を、1994年には、ボランティア功労者として「厚生大臣表彰」を受賞しています。
ヤクルトレディによる 地域の見守り・防犯協力活動 ・提携先 965か所 ・実施販売会社数 101社 ・実施センター数 2,043か所 ・実施ヤクルトレディ数 26,461人 (2023年3月末日現在)	担当地域に毎日商品をお届けしているヤクルトレディは、担当地域をくまなく訪問することから、各地の自治体、警察、消防などと連携して、地域の見守り、安全・安心へのお手伝いをしています。お届け時の高齢者の見守りや、お届け資材に防犯ステッカー等を貼付して、各エリアを回るヤクルトレディによるこの活動は、地元の方の安否確認のみならず、地域における防犯や防災等にもつながり、提携自治体等とも連携しながら、地域との深い絆を築いています。
出前授業* <国内> ・実施回数 約3,500回 ・受講者数 約17万人 <海外> ・実施回数 約25,500回 ・受講者数 約176万人 (2022年度実績)	主に小学生を対象に、学校等に出向いて「早ね、早おき、朝ごはん、朝うんち」をテーマに、出前授業を実施しています。健康のために、正しい食生活・生活習慣を身につけてもらうことを目指し、食べ物の栄養分を吸収する腸の大切さや、腸内細菌のはたらきを解説し、よいうんちを出すための生活習慣について分かりやすくお伝えしています。 ヤクルトの出前授業は2014年度「青少年の体験活動推進企業表彰」（主催：文部科学省）において審査委員会奨励賞を受賞しました。

名 称	内 容
健康教室* <国内> ・実施回数 約31,500回 ・受講者数 約22万人 <海外> ・実施回数 約240,500回 ・受講者数 約942万人 (2022年度実績)	主にご高齢の方等を対象に、公共施設や老健施設、センター等を利用して、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等幅広いテーマで健康教室を開催しています。
東京ヤクルトスワローズ野球教室 ・実施回数 66回 ・受講者数 7,265人 (2022年度実績)	プロ野球選手との交流をとおして正しい練習法や技術の習得、運動の楽しさ、健康のすばらしさを知ってもらおうと1976年から始めています。 例年11月の土・日曜、祝日に全国各地で中学生までの少年野球チームを対象に行っています。
バウンドテニスの普及に協力 および協賛	競技スポーツとしても楽しめる、生涯スポーツ「バウンドテニス」の普及に協力しています。全日本選手権大会、シニア対象のゴールド大会、全国9ブロックの選手権大会・親善交流大会、47の都道府県大会に協賛しています。その他、指導者研修会の開催などにも協力しています。
工場見学 <国内> ・オンライン見学者数 約32,750人 (2022年度実績) <海外> ・見学者数 約53万人 (2022年1～12月実績)	工場見学を通じて、ヤクルトグループの企業姿勢やヤクルト商品を知っていただきます。 乳製品、化粧品等の製造工程の見学やビデオ上映、試飲などが楽しめます。また、小学生の社会科見学にも活用されています。 国内では、2020年3月以降、見学を中止していますが、オンラインでの見学を実施しています。また、来場型の再開に向けて準備を進めています。 海外では、オンラインでの見学を含めて約53万人が参加しました。
工場祭* 実施なし (2022年度実績)	地域住民および社員の家族を招き、工場と地域社会との親睦を深めることを目的としています。 工場見学、試飲、模擬店、近隣の中高生による演奏等の催し物を通じて、地域住民との交流を図っています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止しました。

*一般社団法人 日本食育学会から「食育推進企業・団体」として認定されています。

(2) 環境保全活動

近年の主な動き

年	内 容
1997 (平成9) 年	○「ヤクルト環境基本方針」を制定
2000 (平成12) 年	○環境年次報告書「ヤクルト環境レポート」の制作・公表を開始 (2015年からCSRレポート、2022年からサステナビリティレポート)
2006 (平成18) 年	○「人も地球も健康に」をコーポレートスローガンとして掲げ、地球環境問題への対応をより明確に公知
2012 (平成24) 年	○長期エコビジョン「ヤクルト サステナブル・エコロジー 2020」を策定 将来のエコビジョンとして、ヤクルトグループ全体として「低炭素社会の実現」「資源の有効活用」「生物多様性の保全と活用」に取り組み、ステークホルダーとの共生を図りながら、持続可能な社会の形成を目指すことを宣言 ○環境省推奨「グリーンウェイブ2012」に参加 (2020年まで毎年参加)
2021 (令和3) 年	○「ヤクルトグループ 環境ビジョン」を策定 ○環境に関連するマテリアリティとして「気候変動」「プラスチック容器包装」「水」を特定
2022 (令和4) 年	○TCFDへの賛同
2023 (令和5) 年	○「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」の策定

<ヤクルトグループ環境ビジョン>

2021年3月に、人と地球の共生社会の実現を目指す「ヤクルトグループ環境ビジョン」を策定しました。2050年のあるべき姿として「環境ビジョン2050」を定めるとともに、当ビジョンに基づいた実効性のある取り組みを推進するため「環境目標2030」および「環境アクション（2021-2024）」もあわせて策定し、取り組みを推進しています。



●環境ビジョン2050

「人と地球の共生社会を実現するバリューチェーン環境負荷ゼロ経営」
2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロ（スコープ1・2・3）を目指します。

●環境目標2030

「環境ビジョン2050」実現に向けた中期的マイルストーンとして「環境目標2030」を設定し、取り組みを推進しています。

マテリアリティ(重要課題)	目 標	取 り 組 み
気候変動	温室効果ガス排出量（国内スコープ1・2）を2018年度比30%削減する	脱炭素に向けた温室効果ガス排出量の削減 省エネ活動の推進や再生可能エネルギーの導入 等
プラスチック容器包装	プラスチック製容器包装の使用量（国内）を2018年度比30%削減あるいは再生可能にする	資源循環しやすい容器包装への転換 容器包装の素材変更による環境負荷低減 等
水	水使用量（国内乳製品工場：生産量原単位）を2018年度比10%削減する	持続可能な水資源の使用 水使用量の削減 等

●環境アクション(2021-2024)

「環境目標2030」を達成するための短期的マイルストーンとして「環境アクション（2021-2024）」を設定し、取り組みを推進しています。

マテリアリティ	重点テーマ	目 標
気候変動	1. 脱炭素社会の実現	温室効果ガス排出量（国内スコープ1・2）を2024年度末までに2018年度比10%削減
プラスチック容器包装	2. 資源循環できる容器包装への転換	(1)プラスチック製容器包装の使用量（国内）を、2024年度末までに2018年度比5%削減あるいは再生可能にする (2)容器包装の資材使用量を削減 (3)容器包装の素材変更により環境負荷を低減 (4)容器包装に植物由来の環境にやさしい素材を使用
水	3. 水使用量の削減	水使用量（国内乳製品工場：生産量原単位）を2024年度末までに2018年度比3%削減
	4. 廃棄物の削減	(1)廃棄物発生量を、2024年度末までに2010年度比20%削減 (2)食品廃棄物の再資源化率95%以上の維持
	5. 生物多様性の保全と活用	(1)自然保護活動の支援・参画を行う (2)生物多様性に関する教育の推進

(3) サプライチェーンマネジメント

2018年に策定した「ヤクルトグループCSR調達方針」のもと、人権、労働、環境、腐敗防止などにも配慮するCSR調達の重要性を認識し、取引先と連携・協力しながらサプライチェーン全体でCSR調達を推進しています。2020年は、CSR調達方針に基づき「ヤクルトグループサプライヤーCSRガイドライン」を策定しました。当ガイドラインは、取引先に対して、責任ある調達活動に関する依頼事項をまとめたもので、当ガイドラインも用いながら、環境・社会に与える影響への配慮やリスクの軽減

により、サプライチェーン全体で社会の持続可能性を高めます。

(4) 人権

私たちは、事業を行う過程やバリューチェーンにおいて、直接または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを認識し、事業に関わるすべての人の人権を尊重するため、2021年度に「ヤクルトグループ人権方針」を策定しました。

また、2022年度には人権方針をヤクルトグループ従事者に理解浸透させるための資料として、記載内容を分かりやすく解説した「ヤクルトグループ人権方針ガイドライン」を制作しました。

今後も、すべての人権が尊重される責任あるバリューチェーンの構築に向けて、グループ全体で人権尊重の取り組みを推進していきます。

<調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント>

2023年3月に、サプライチェーンから森林破壊をなくすことをめざす「調達活動における森林破壊・土地転換ゼロコミットメント」を策定しました。

サプライチェーンにおける森林破壊リスクのある原材料を特定し、基本的方針、取り組みおよび目標を掲げながら、持続可能な調達を推進します。

対象範囲	ヤクルトグループの食品・飲料、医薬品および化粧品の生産に必要な原材料調達に関わる国内外のすべての連結事業所	
対象原材料	目標年度	定量目標
紙・パルプ	2025	紙製容器包装のために調達する紙・パルプ100%をFSC ^{※1} などの国際認証品あるいは再生紙に切り替え
パーム油	2025	調達するパーム油100%をRSPO ^{※2} 認証品 (MB ^{※3} 以上) に切り替え
	2030	一次原料として調達するパーム油100%について生産地までのトレーサビリティを確立
大豆	2030	一次原料として調達する大豆100%について農家などの原料生産地までのトレーサビリティを確立
乳製品	2030	調達する乳製品 (脱脂粉乳等) 100%について酪農家などの原料採取地までのトレーサビリティを確立

※1 FSC[®] : Forest Stewardship Council[®]の略称で、国際的な森林認証制度を運営する非営利組織

※2 RSPO : Roundtable on Sustainable Palm Oilの略称で、パーム油に関わる7つのステークホルダーによって構成される非営利組織であり、持続可能なパーム油の国際認証制度を持つ

※3 MB : Mass Balanceの略称で、パーム油の3つの認証モデルのうちの一つ。製造過程で、認証油と非認証油が混合されるモデルで、物理的には非認証油も含んでいるが、購入した認証油の数量は保証されている

(5) 健康経営

当社では社員の「健康」に関する会社の考え方・方針として、2017年に「健康宣言」を打ち出しています。また、2023年3月には、従業員の健康への経営的な取り組みが評価され、「健康経営優良法人～ホワイト500～」に6年連続で認定されました。

健康宣言

ヤクルトは“人々の健康に貢献する”という理念の実現には従業員の健康が不可欠であるとの認識に立ち、従業員の心身の健康保持・増進および「安全・安心」な職場環境づくりに努めます。

11. 学術支援・広報活動

(1) 健康情報の提供・発信

名 称	内 容
ヘルシスト	「生命科学」や「健康」をテーマとした健康・科学情報誌。隔月刊、発行部数約50,000部。1976年創刊。2011年から年1回英語版も発行。2020年からウェブ版も公開。
サイエンスレポート	ヤクルトの乳酸菌およびビフィズス菌の特長や、医療領域への応用事例、生活習慣病予防に役立つヤクルト独自の保健機能成分と効果についてなど、分かりやすく解説した冊子。本社ホームページからも閲覧可能。

(2) 科学技術の振興

名 称	内 容
乳酸菌研究会	1968年から1981年にかけて、腸内微生物に関する研究に従事している医師、大学教授、研究者等が組織した「乳酸菌研究会」の趣旨に賛同し、以後、この研究会を支援するとともに、毎年大学をはじめとする研究機関の会員（89名：2022年度）へ研究協力しています。 全国8地区（北海道、東北、中部、東海、北陸、近畿、中四国、九州）の研究会の運営は、各地区の会員から互選された会長を中心に自主運営されており、年1回、総会・研究発表会を行い交流を図っています。
総合科学雑誌「ネイチャー」とのタイアップ	2016年度の中央研究所オープニングカンファレンスにて「ネイチャーカフェ」（基調講演、パネルディスカッション）を開催、2017年度もロンドンにてネイチャーカフェを開催し、プロバイオティクスの有効性等を発信しています。2018年からは、パートナーシップ契約を締結し、「マイクロバイオータ」や「プロバイオティクス」分野研究の発展を目的として、共同で研究助成プログラムを継続しています。

12. お客様相談センター

当社では、1990年6月から、お客さまや外部の方々のご質問やご相談にお答えする窓口として「お客さま相談センター」を開設し、あわせてフリーダイヤル（料金着信払い）を導入しています。

当センターでは、電話・メール・手紙等で寄せられるご質問などにお答えする一方、そのご意見を社業に反映させ、つねに品質の良い商品と真心こめたサービスをお届けするよう努めています。

●お客さま相談センターのダイヤル番号（全国共通）

フリーダイヤル ☎ 0120-11-8960 受付時間10:00～16:00

（土・日・祝日・夏季休業・年末年始等を除く）

携帯電話などからはナビダイヤル ☎ 0570-00-8960

人も地球も健康に

Yakult



ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

発行 株式会社ヤクルト本社 広報室
〒105-8660 東京都港区海岸1-10-30